

豊橋田原ブロック
循環型社会形成推進地域計画
〔第1期計画〕

平成26年12月18日

変更報告 平成27年12月18日

変更承認 平成28年12月16日

豊橋市、田原市

〔 豊橋田原ブロック 循環型社会形成推進地域計画 〕

目 次

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項.....	1
(1) 対象地域	1
(2) 計画期間	1
(3) 基本的な方向	1
(4) 広域化の検討状況.....	2
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標.....	3
(1) 一般廃棄物等の処理の現状.....	3
(2) 生活排水の処理の現状.....	5
(3) 一般廃棄物等の処理の目標.....	6
(4) 生活排水の処理の目標.....	9
3. 施策の内容	12
(1) 廃棄物の発生抑制、再使用の推進.....	12
(2) 処理体制	14
(3) 処理施設等の整備.....	18
(4) 施設整備に関する計画支援事業.....	19
(5) その他の施策	20
4. 計画のフォローアップと事後評価.....	21
(1) 計画のフォローアップ.....	21
(2) 事後評価及び計画の見直し.....	21
・ 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1	22
・ 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2	24
・ 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧.....	25
・ 参考資料様式 1 施設概要（リサイクル施設系）.....	28
・ 参考資料様式 2 施設概要（熱回収施設系）.....	31
・ 参考資料様式 5 施設概要（浄化槽系）.....	32
・ 参考資料様式 6 計画支援概要.....	34
・ 別添資料.....	36

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市名 豊橋市、田原市
面積 452.98 km²
人口 443,922 人（平成 26 年 4 月 1 日現在）

表 1 構成市の面積と人口

項目\市名	豊橋市	田原市	合計
面積(km ²)	261.86	191.12	452.98
人口(人)	378,905	65,017	443,922

[出典]豊橋市及び田原市ホームページ

(2) 計画期間

本計画は、平成 27 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とする。なお、目標の達成状況や社会情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

● 地域の概要

豊橋田原地域は、愛知県の南東部に位置し、豊川流域及び渥美半島で構成される地域である。豊かな水と温暖な気候に恵まれて農業が盛んに行われており、露地野菜、果樹、園芸作物、稲作など多種多様な作物が栽培されている。また、日本一の飼養羽数を誇る養鶏を始め、養豚、養鶏などの畜産も盛んで、全国トップクラスの農業産出額を誇る産地となっている。

豊橋市は「筆」^{きしこ}「刺子」^{ほまるかけ}「帆前掛」などの伝統工芸や、「焼ちくわ」「ゼリー」など食品関係の地場産業も盛んである。田原市は三河港臨海工業地帯田原地区に工業系事業所が集積されており、輸送用機械器具製造業が盛んである。

● 豊橋市のごみ及び生活排水処理について

豊橋市は、「530（ゴミゼロ）運動」発祥の地として、環境に配慮したまちづくりを推進してきた。さらにごみを熔融処理し、熔融スラグを有効利用することで最終処分場の負荷軽減を図ってきた。

家庭系ごみのうち、可燃ごみは「豊橋市資源化センター」（焼却及びガス化熔融施設）において処理を行っている。現在、バイオマス利活用センターの整備計画を進めており、平成 29 年度以降、生ごみ・し尿及び浄化槽汚泥はバイオマス資源として有効利用する。バイオマス資源を除く可燃ごみは、ごみ処理広域施設を平成 34 年度稼働目標として整備し、処理を進めていく。

事業系ごみについては近年横ばい傾向にあるが、事業者に対する更なる指導徹底等により、引き続き発生抑制や再生利用を進めていく。

生活排水については、公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、下水道、農業集落排水及び合併処理浄化槽の整備を進めていく。

● 田原市のごみ及び生活排水処理について

田原市は、PFI 事業でごみの炭化処理を行っており、炭化物を有効利用して最終処分場の負荷軽減を図ってきた。

家庭系ごみのうち、可燃ごみは「田原リサイクルセンター（炭生館）」（炭化施設）において処理を行っている。さらに今後は、生ごみをバイオマス資源として利活用できるか検討していく。可燃ごみは、豊橋市に整備予定であるごみ処理広域施設にて処理を進めていく。

事業系ごみについては近年減少傾向にあるが、事業者に対する更なる指導徹底等により、引き続き発生抑制や再生利用を進めていく。

生活排水については、公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、下水道、農業集落排水及び合併処理浄化槽の整備を進めていく。

(4) 広域化の検討状況

愛知県では、平成 21 年 3 月に「第 2 次愛知県ごみ焼却処理広域化計画（平成 20 年度～平成 29 年度）」を策定しており、この中で豊橋市及び田原市は「豊橋田原ブロック」に位置付けられ、豊橋市資源化センターと田原リサイクルセンターを統合することにより最終的に 1 施設への集約化を目指すことが示されている。

豊橋市及び田原市においては、平成 12 年 2 月からごみ処理広域化の検討を開始しており、平成 25 年度には豊橋田原ごみ処理広域化ブロック会議として「豊橋田原ごみ処理広域化計画」を策定し、これに基づいて施設整備（集約化）を進めていく。

「豊橋田原ごみ処理広域化計画」では、ごみ処理広域施設を平成 34 年度稼働目標として計画している。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

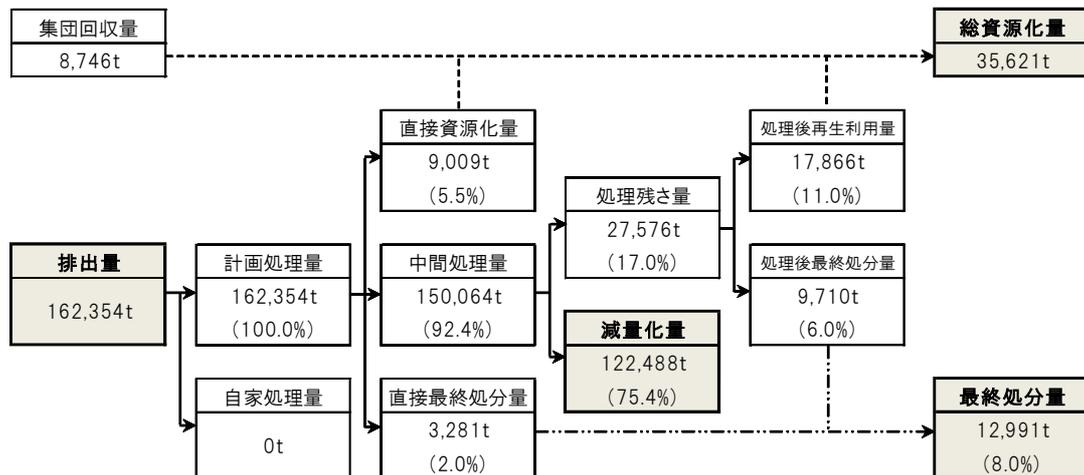
(1) 一般廃棄物等の処理の現状

豊橋田原ブロック及び構成市の平成 25 年度の一般廃棄物の排出及び処理状況は、**図 1～図 3** のとおりである。

豊橋田原ブロックのごみの総排出量は、集団回収量も含め、171,100 トンであり、再生利用される「総資源化量」は 35,621 トン、リサイクル率（＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総処理量＋集団回収量））は 20.8% である。

平成 25 年度における中間処理による減量化量は 122,488 トンであり、集団回収量を除いた排出量のおおむね 8 割が減量化されている。また、集団回収量を除いた排出量の約 8% に当たる 12,991 トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は 148,479 トンである。



※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

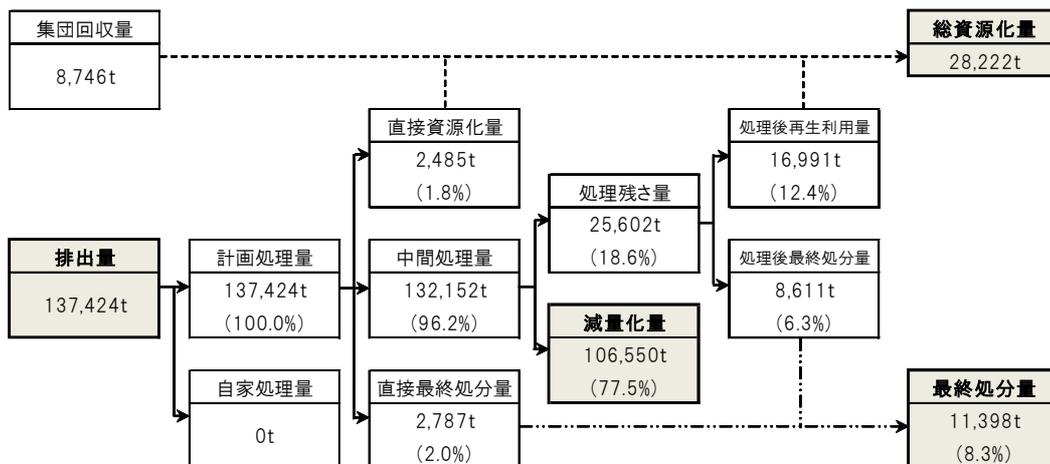
図 1 豊橋田原ブロックの現状の一般廃棄物の処理状況フロー（平成 25 年度）

● 豊橋市の余熱利用状況

豊橋市資源化センターでは、廃熱を熱回収し発電を行っている。発電された電気は施設内で使用し、余剰分は電力会社へ売電している。また、発電以外にも、蒸気を近隣の温室や温水プールなどに送り、有効利用している。

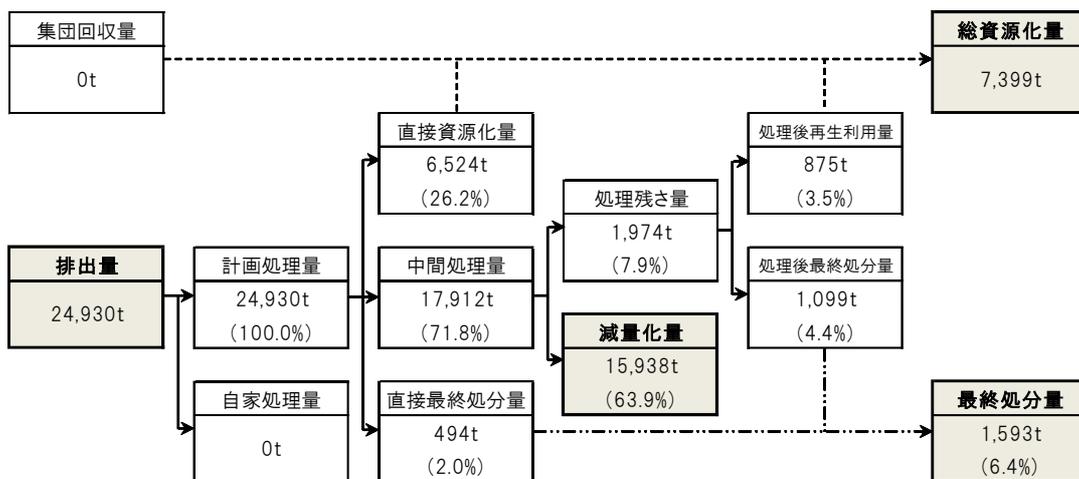
● 田原市の余熱利用状況

田原リサイクルセンター（炭生館）では、廃熱を熱回収し、施設内で白煙防止熱源、炭化空気加温用熱源、場内暖房・給湯、炭化物乾燥用熱源として有効利用している。



※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

図 2 豊橋市の現状の一般廃棄物の処理状況フロー（平成 25 年度）



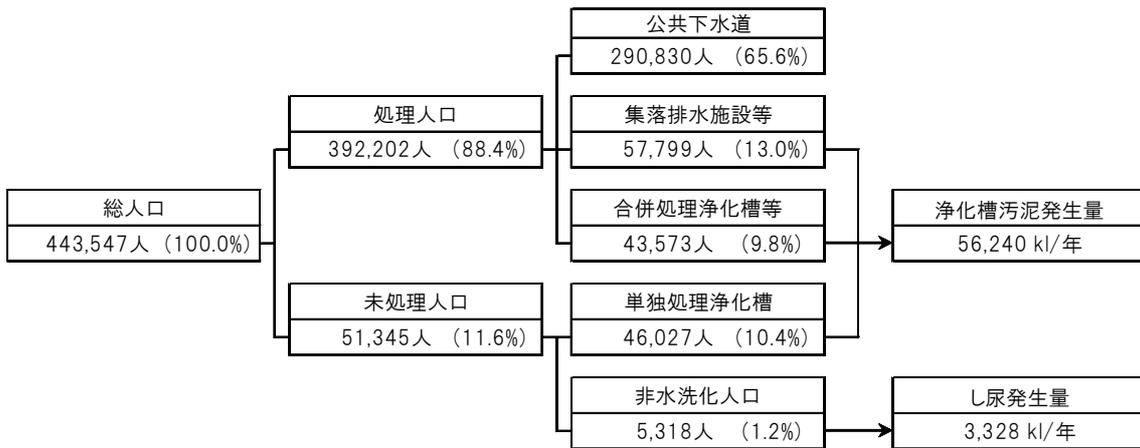
※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

図 3 田原市の現状の一般廃棄物の処理状況フロー（平成 25 年度）

(2) 生活排水の処理の現状

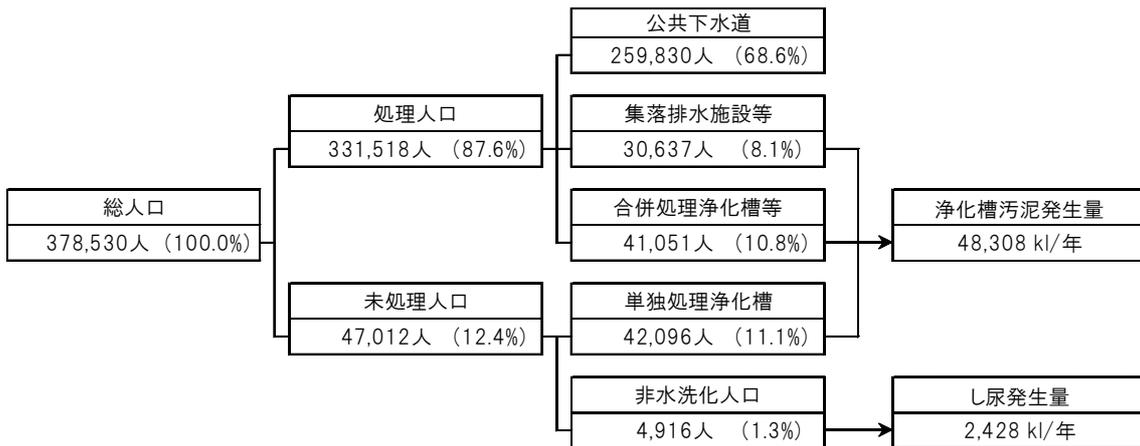
豊橋田原ブロック及び構成市の平成 25 年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は、図 4～図 6 のとおりである。

平成 25 年度における豊橋田原ブロックの生活排水処理対象人口は、全体で 443,547 人であり、水洗化人口は 392,202 人、汚水衛生処理率 88.4% である。し尿発生量は 3,328kl/年、浄化槽汚泥発生量は 56,240kl/年であり、処理・処分量（＝収集・運搬量）は 59,568kl/年である。



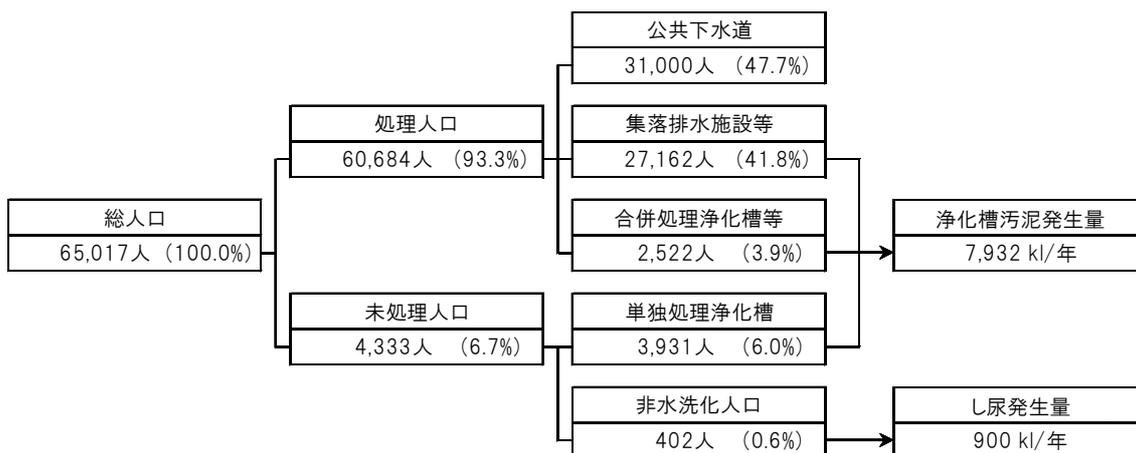
※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。

図 4 豊橋田原ブロックの現状の生活排水の処理状況フロー（平成 25 年度）



※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。

図 5 豊橋市の現状の生活排水の処理状況フロー（平成 25 年度）



※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。

図6 田原市の現状の生活排水の処理状況フロー（平成25年度）

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表2～表4及び図7～図9のとおり目標量を定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表2 豊橋田原ブロックの減量化、再生利用に関する現状と目標

指標\年度		現状(割合 ^{※1})		目標(割合 ^{※1})	
		平成25年度	平成32年度	平成32年度	(H32/H25)
排出量	事業系 総排出量	47,012 トン	44,061 トン		(-6.3%)
	1事業所当たりの排出量 ^{※2}	2.58 トン/事業所	2.44 トン/事業所		(-5.4%)
	家庭系 総排出量	115,342 トン	104,330 トン		(-9.5%)
	1人当たりの排出量 ^{※3}	220.3 kg/人	181.6 kg/人		(-17.6%)
	合計 事業系家庭系排出量合計	162,354 トン	148,391 トン		(-8.6%)
	集団回収 集団回収ごみ量	8,746 トン	8,200 トン		(-6.2%)
総合計 事業系家庭系集団回収排出量合計	171,100 トン	156,591 トン		(-8.5%)	
再生利用量	直接資源化量	9,009 トン (5.5%)	16,971 トン (11.4%)		
	総資源化量(集団回収含む)	35,621 トン (20.8%)	44,305 トン (28.3%)		
熱回収量	年間の発電電力量	32,597 MWh	24,988 MWh		
減量化量	中間処理による減量化量	122,488 トン (75.4%)	101,319 トン (68.3%)		
最終処分量	埋立最終処分量	12,991 トン (8.0%)	10,967 トン (7.4%)		

※1 排出量は現状に対する割合、総資源化量は排出量と集団回収量の和に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※3 (1人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《指標の定義》

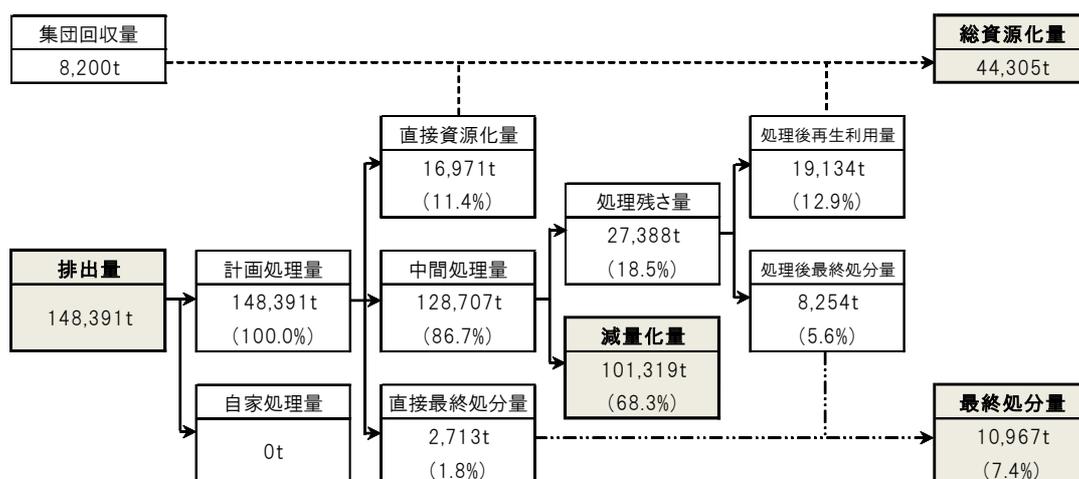
排出量: 事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く。)[単位: トン]

再生利用量: 集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和[単位: トン]

熱回収量: 熱回収施設において発電された年間の発電電力量[単位: MWh]

減量化量: 中間処理量と処理後の残さ量の差[単位: トン]

最終処分量: 埋立処分された量[単位: トン]

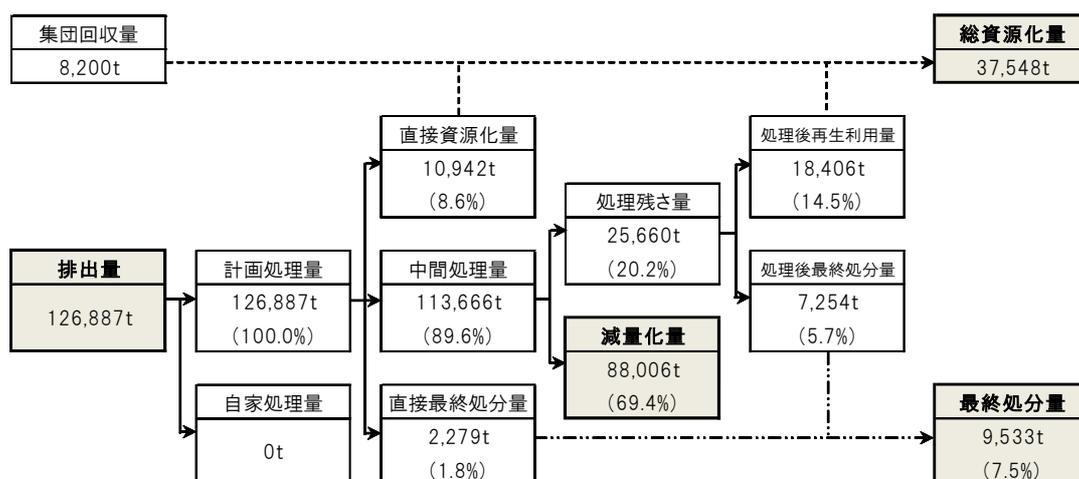


※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

図7 豊橋田原ブロックの目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（平成32年度）

表3 豊橋市の減量化、再生利用に関する現状と目標

指標\年度			現状(割合※1)		目標(割合※1)	
			平成25年度		平成32年度	
排出量	事業系	総排出量	40,200 トン	38,612 トン	(-4.0%)	
		1事業所当たりの排出量	2.68 トン/事業所	2.58 トン/事業所	(-3.7%)	
	家庭系	総排出量	97,224 トン	88,275 トン	(-9.2%)	
		1人当たりの排出量	223.2 kg/人	181.5 kg/人	(-18.7%)	
	合計	事業系家庭系排出量合計	137,424 トン	126,887 トン	(-7.7%)	
	集団回収	集団回収ごみ量	8,746 トン	8,200 トン	(-6.2%)	
	総合計	事業系家庭系集団回収排出量合計	146,170 トン	135,087 トン	(-7.6%)	
再生利用量	直接資源化量	2,485 トン (1.8%)	10,942 トン (8.6%)			
	総資源化量(集団回収含む)	28,222 トン (19.3%)	37,548 トン (27.8%)			
熱回収量	年間の発電電力量	32,597 MWh	24,988 MWh			
減量化量	中間処理による減量化量	106,550 トン (77.5%)	88,006 トン (69.4%)			
最終処分量	埋立最終処分量	11,398 トン (8.3%)	9,533 トン (7.5%)			

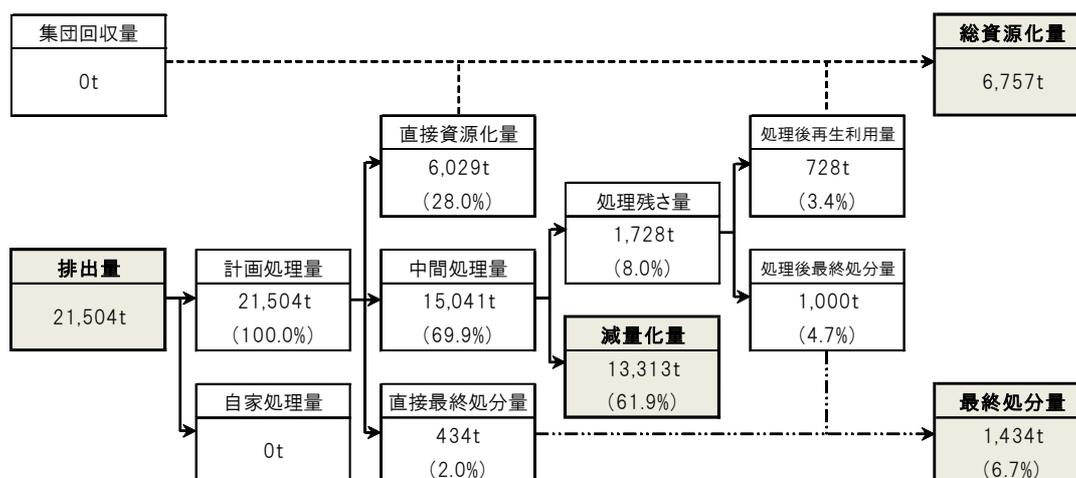


※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

図8 豊橋市の目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（平成32年度）

表4 田原市の減量化、再生利用に関する現状と目標

指標\年度		現状(割合※ ¹)		目標(割合※ ¹)	
		平成25年度		平成32年度	
排出量	事業系 総排出量	6,812 トン	5,449 トン	(-20.0%)	
	1事業所当たりの排出量	2.01 トン/事業所	1.58 トン/事業所	(-21.4%)	
	家庭系 総排出量	18,118 トン	16,055 トン	(-11.4%)	
	1人当たりの排出量	203.6 kg/人	181.9 kg/人	(-10.7%)	
	合計 事業系家庭系排出量合計	24,930 トン	21,504 トン	(-13.7%)	
	集団回収 集団回収ごみ量	0 トン	0 トン	-	
総合計 事業系家庭系集団回収排出量合計	24,930 トン	21,504 トン	(-13.7%)		
再生利用量	直接資源化量	6,524 トン (26.2%)	6,029 トン (28.0%)		
	総資源化量(集団回収含む)	7,399 トン (29.7%)	6,757 トン (31.4%)		
熱回収量	年間の発電電力量	0 MWh	0 MWh		
減量化量	中間処理による減量化量	15,938 トン (63.9%)	13,313 トン (61.9%)		
最終処分量	埋立最終処分量	1,593 トン (6.4%)	1,434 トン (6.7%)		



※四捨五入の関係上、各処理量・処分量の排出量に対する割合は整合が取れない場合がある。

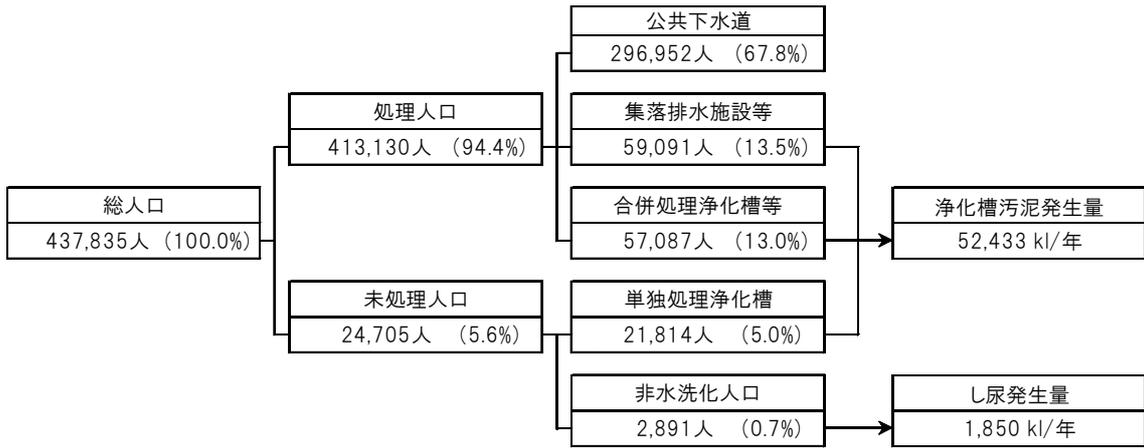
図9 田原市の目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー（平成32年度）

(4) 生活排水の処理の目標

本計画の計画期間中において、生活排水処理については、表5～表7及び図10～図12のとおり目標を定め、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

表5 豊橋田原ブロックの生活排水処理に関する現状と目標

指標\年度	現状		目標	
	平成25年度		平成32年度	
処理形態別人口	公共下水道	290,830人 (65.6%)	296,952人 (67.8%)	
	集落排水施設等	57,799人 (13.0%)	59,091人 (13.5%)	
	合併処理浄化槽等	43,573人 (9.8%)	57,087人 (13.0%)	
	未処理人口	51,345人 (11.6%)	24,705人 (5.6%)	
	合計	443,547人	437,835人	
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	3,328 kℓ	1,850 kℓ	
	浄化槽汚泥量	56,240 kℓ	52,433 kℓ	
	合計	59,568 kℓ	54,283 kℓ	

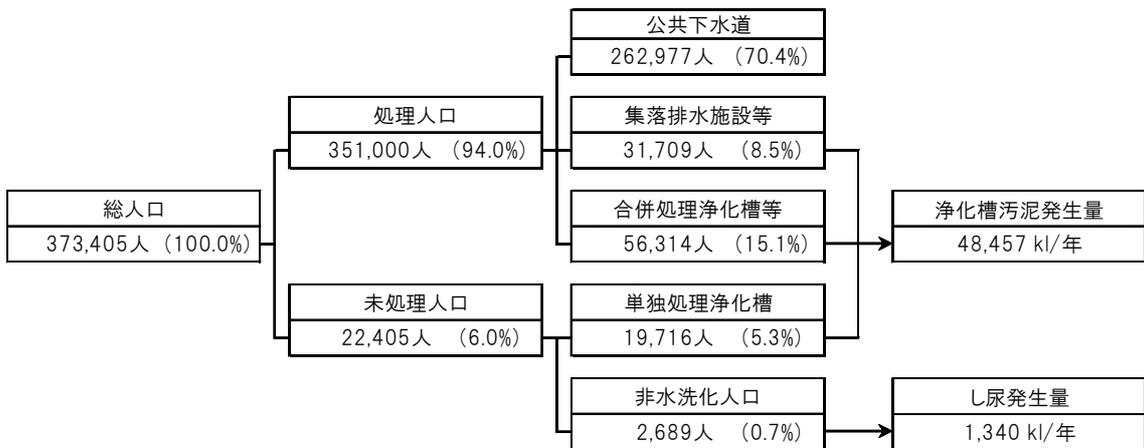


※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。

図 10 豊橋田原ブロックの目標達成時の生活排水の処理状況フロー（平成 32 年度）

表 6 豊橋市の生活排水処理に関する現状と目標

指標\年度		現状	目標
		平成25年度	平成32年度
処理形態 別人口	公共下水道	259,830 人 (68.6%)	262,977 人 (70.4%)
	集落排水施設等	30,637 人 (8.1%)	31,709 人 (8.5%)
	合併処理浄化槽等	41,051 人 (10.9%)	56,314 人 (15.1%)
	未処理人口	47,012 人 (12.4%)	22,405 人 (6.0%)
	合計	378,530 人	373,405 人
し尿・汚泥 の量	汲み取りし尿量	2,428 kℓ	1,340 kℓ
	浄化槽汚泥量	48,308 kℓ	48,457 kℓ
	合計	50,736 kℓ	49,797 kℓ

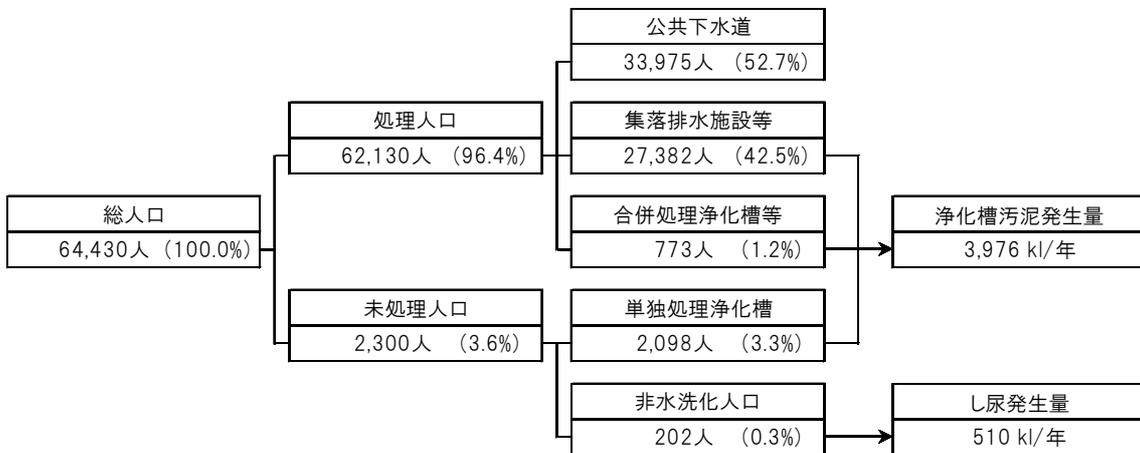


※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。

図 11 豊橋市の目標達成時の生活排水の処理状況フロー（平成 32 年度）

表7 田原市の生活排水処理に関する現状と目標

指標\年度		現状		目標	
		平成25年度		平成32年度	
処理形態 別人口	公共下水道	31,000 人	(47.7%)	33,975 人	(52.7%)
	集落排水施設等	27,162 人	(41.8%)	27,382 人	(42.5%)
	合併処理浄化槽等	2,522 人	(3.9%)	773 人	(1.2%)
	未処理人口	4,333 人	(6.7%)	2,300 人	(3.6%)
	合計	65,017 人		64,430 人	
し尿・汚泥 の量	汲み取りし尿量	900 kℓ		510 kℓ	
	浄化槽汚泥量	7,932 kℓ		3,976 kℓ	
	合計	8,832 kℓ		4,486 kℓ	



※四捨五入の関係上、総人口に対する割合は整合が取れない場合がある。

図12 田原市の目標達成時の生活排水の処理状況フロー（平成32年度）

3. 施策の内容

(1) 廃棄物の発生抑制、再使用の推進

ア ごみ処理の有料化

① 粗大ごみ

● 豊橋市

「大きなごみ」(粗大ごみ)についてステーション収集は行っておらず、直接持込または申込み制の戸別有料収集を行い、排出抑制を推進している。

今後もこの体制を継続していく。

● 田原市

「粗大ごみ」の有料化及び収集は行っておらず、直接持込みにより受け入れている。今後、他自治体事例等を参考に負担の公平性や有料化方式などの検証を行い、ごみの有料化を検討していく。

② 家庭系ごみ(①を除く)

● 豊橋市

①に示す粗大ごみを除き、家庭系ごみの有料化は行っていないが、平成28年4月より、ごみ分別マナーの徹底等を目的に、もやすごみ及びこわすごみを対象に指定ごみ袋制度を導入した。

今後、様々なごみ減量施策を講じる中で有料化についても検討していく。

● 田原市

家庭ごみの有料化は行っていないが、他自治体事例等を参考に費用負担の公平性や有料化方式などの検証を行なった結果、平成29年度末の導入を目標とする家庭系ごみの有料化を検討している。また、手数料については今後のごみ減量化・資源化の目標達成状況により、随時見直しを検討していく。

③ 事業系ごみ

● 豊橋市

事業系ごみに対して、市処理施設搬入時に処理手数料の徴収を行い、経済的インセンティブを活用した排出抑制を推進している。

今後、引き続きごみ処理原価に基づく適正な手数料額の設定に努め、必要に応じて見直しを検討していく。

● 田原市

事業系ごみに対して処理手数料の徴収を行い、経済的インセンティブを活用した排出抑制を推進している。

今後も必要に応じて見直しを検討していく。

イ 環境教育、普及啓発、助成

● 豊橋市

表8に示す環境教育、普及啓発、助成を行っている。

今後にも必要に応じて見直しを検討していく。

● 田原市

表 8 に示す環境教育、普及啓発、助成を行っている。

今後もこれらの取り組みを継続していく。

表 8 環境教育、普及啓発、助成の現状

区分	施策の概要	
	豊橋市	田原市
環境教育	<p>① 小学生への環境教育 小学 4 年生全児童に社会科資料集「町をきれいに」を配付している。</p> <p>② 生ごみの減量について 平成 14 年度より、生ごみ減量容器・電動式生ごみ処理機の上手な使い方、堆肥を利用した家庭でできる花づくり等を紹介する講習会を開催している。 平成 24 年度より、手作りコンポストの作製・利用の講習会を開催している。</p> <p>③ 出前講座の実施 町自治会や事業所、団体等を対象にごみの分け方や出し方、市のごみ処理の現状を伝え、ごみ減量やリサイクル、地域清掃活動の啓発を行っている。</p> <p>④ 幼児環境教育の実施 幼稚園や保育園の園児を対象に、演劇やビデオによりごみ分別や530運動の大切さを啓発している。</p>	<p>将来を担う子どもたちがごみに関心を持ち、その大切さを正しく理解するよう、学校・地域・家庭において環境学習の機会の拡大など市民が積極的に環境学習に取り組めるよう、次の取り組みを行っている。</p> <p>① 3Rに関する各種教室の開催 ② ごみ処理施設の見学 ③ 自治会・事業所・学校等を通じた学習</p>
普及啓発	<p>① ガイドブックの配付 ごみの分別や持ち出しマナー、ルールなどを記載した「ごみガイドブック」を全世帯に配付。外国人定住者用に 4 ヶ国語の「ごみガイドブック」を作成し、配付している。</p> <p>② 収集日程表の配付・配信 年間収集日を記載した「クリーンカレンダー」を全世帯に配付するとともに、収集日をメールで知らせる「ごみ収集日お知らせメールサービス」を行っている。</p> <p>③ 集団回収に関する啓発 地域資源回収を今後も継続し、より多くの市民が活動に参加できるよう「地域資源回収の手引き」を作成している。</p>	<p>広報・啓発・指導体制整備に努めるとともに、多くの機会を通じて情報の提供と共有、意見交換などを実施している。 なお、転入者・単身赴任者・通勤及び通学等で来る人は田原市のごみ排出区分等への理解が少ないため、次の取り組みを行っている。</p> <p>① ごみの分け方・出し方のパンフレット、ごみ収集カレンダーの作成・配付 ② ごみ減量等推進員による現場指導 ③ 自治会・事業所・学校等を通じた啓発</p>
助成	<p>① 生ごみ処理機購入補助金制度 「生ごみ減量容器(コンポスト)」及び「電動式生ごみ処理機(バイオ式、乾燥式)」について、購入費の 1/2(上限あり)の助成を行っている。 (電動式生ごみ処理機(乾燥式)の無料貸出制度も実施。)</p> <p>② 地域資源回収団体奨励金制度 資源回収の活性化及び再資源化を推進するため、資源ごみのうち「古紙・布類・缶」を回収した団体に対して奨励金を交付している。</p>	<p>① 生ごみ処理容器等設置事業補助金制度 「生ごみ処理容器」及び「電気生ごみ処理機」について、購入費の 1/2(上限あり)の助成を行っている。 (電動式生ごみ処理機(乾燥式)の無料貸出制度も実施。)</p>

ウ マイバッグ運動・レジ袋対策

● 豊橋市

市内の販売店や530運動環境協議会と協力して、平成25年度からレジ袋の有料化を行っている。

今後もこの体制を継続していく。

● 田原市

「田原市レジ袋削減推進協議会」を発足し、「レジ袋削減に関する協定」を締結した店舗を対象に、平成21年度からレジ袋の有料化を行っている。

今後もこの体制を継続していく。

エ 生活排水対策

● 豊橋市

「梅田川ふれあいクリーン作戦」の開催、「豊橋市クリーン推進員活動」の推進、「530のまち環境フェスタ」など環境関連イベントにおける啓発活動などを行い、生活排水対策の普及啓発に取り組んでいる。また、保守点検、清掃及び法定検査など浄化槽を正しく維持管理するために「浄化槽管理手帳」を配付している。

今後もこの体制を継続していく。

● 田原市

河川水質調査の結果をホームページ等で公表し、水質浄化の意識向上に取り組んでいる。また、たはらエコフェスタ等の環境関連イベントにおいてポスター展示やパンフレット配付を通して生活排水対策の普及啓発を行っている。

今後もこの体制を継続していく。

(2) 処理体制

ア 家庭系ごみの処理体制の現状と今後

各市の分別区分と処理方法は、表9のとおりである。

● 豊橋市

現在、家庭系ごみのうち可燃ごみは、豊橋市資源化センター（焼却及びガス化溶融施設）において溶融処理を行い、溶融スラグを有効利用することで最終処分量の削減に取り組んでいる。

このほか、資源ごみとして、プラスチック、びん・カン、ペットボトル、古紙、布類を分別収集・集団回収・拠点回収により収集し資源化しており、今後も循環型社会の形成を図っていく。

さらにバイオマス活用センターを平成29年度に整備し、生ごみをバイオマス資源として有効利用を図っていく。

また、このことに合わせ、現在可燃ごみの一部として収集している生ごみを、新たな分別区分として設定する。

また、分別収集体制の見直しを行うなかで、びん・カンについては、収集拠点として市内約 2,200 箇所に専用のビンカン回収用ボックスを設置して収集を行っているが、老朽化や抜き取り被害などの諸問題が生じていることから、持ち出し日を指定してのステーション収集体制に切り替えを行う。

バイオマス資源を除く可燃ごみは、平成 34 年度を稼働目標にごみ処理広域施設を整備し、処理を進めていく。

● 田原市

現在、家庭系ごみのうち可燃ごみは、田原リサイクルセンター（炭生館）（炭化施設）において処理を行い、炭化物として有効利用することで最終処分量の削減に取り組んでいる。

このほか、資源ごみとして、有害ごみ、紙類、布類、空缶、小物金属、ガラスびん、ペットボトル、プラスチック容器類、白色トレイを分別収集により収集し資源化しており、今後も循環型社会の形成を図っていく。

また、平成 23 年 7 月からは廃食用油の拠点回収及び平成 26 年 12 月から個人情報保護対策に配慮が必要な使用済み小型家電のボックス回収を行っている。

なお、資源ごみ処理施設は、平成の大合併前に整備してきた施設で、市内 3 施設で分散処理しており非効率な運営となっているため、施設の統合を検討する。

さらに今後、生ごみはバイオマス資源として利活用できるか検討していく。

バイオマス資源を除く可燃ごみは、平成 34 年度を稼働目標にごみ処理広域施設を整備し、処理を進めていく。

イ 事業系ごみ（一般廃棄物）の処理体制の現状と今後

● 豊橋市

一定規模以上の事業所に対して減量計画書の提出を要請し、必要な指導・助言を行っている。また、事業系ごみ減量の必要性や紙ごみのリサイクルについて「ごみ減量行動マニュアル」を作成し、事業所でのごみ減量への取り組みを促進している。

今後もこの体制を継続するほか、事業系ごみの搬入検査を強化し、再生利用できる古紙などの搬入制限について検討していく。また平成 29 年 10 月からは、家庭から出る生ごみ同様に、事業系生ごみをバイオマス資源として有効利用を図っていく。

● 田原市

現在、事業系ごみ（一般廃棄物）のうち可燃ごみは田原リサイクルセンター（炭生館）で処理を行い、紙類等の資源ごみは各資源化センターに搬入され資源化している。また、事業者は自らの事業活動に伴い発生する事業系ごみの発生抑制、資源の循環的な利用をする取り組みを促進している。

今後もこの体制を継続するほか、抜き取り検査等により分別の徹底を図っていく。

ウ 一般廃棄物と併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

● 豊橋市

市内の事業所から発生する産業廃棄物のうち「紙くず」、「木くず」、「繊維くず」、及び「動植物性残さ」に限って、豊橋市資源化センターにて受け入れている。なお、中核市移行に伴って産業廃棄物行政が県から委譲されたため、産業廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する業務を行っている。

今後もこの体制を継続するほか、施設負担軽減の観点から産業廃棄物の受け入れについて見直しを検討していく。

● 田原市

市内の事業所から発生する産業廃棄物は受け入れていない。

エ 生活排水処理の現状と今後

● 豊橋市

公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、下水道の整備及び早期接続を推進するとともに、下水道、農業集落排水の処理区域に含まれない地域においては合併処理浄化槽等への転換を推進している。

また、下水道終末処理場のひとつである中島処理場では、余剰汚泥を堆肥化し、「のんほいユーキ」として緑農地還元している。

し尿及び浄化槽汚泥は、豊橋市資源化センターし尿処理施設にて処理を行っている。

バイオマス利活用センターを平成 29 年度に整備し、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみを併せてバイオマス資源として有効利用を行っている。

● 田原市

公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、下水道、農業集落排水の整備及び早期接続を推進するとともに、下水道、農業集落排水の処理区域に含まれない地域においては合併処理浄化槽等への転換を推進している。

し尿及び浄化槽汚泥は、田原市衛生センターにて処理を行っている。

オ 今後の処理体制の要点

- ・ ゴミ処理広域施設（焼却処理施設、粗大ゴミ処理施設）の整備を行う
- ・ 豊橋市は分別収集体制の見直しを行うなかで、ビンカンストックヤードの整備を行う
- ・ 田原市は市内 3 か所に分散されている資源ゴミ処理施設を統合する
- ・ 豊橋市、田原市とも、下水道処理区域外においては、合併処理浄化槽への転換を推進する

表9 家庭ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現状(平成25年度)					
市名	分別区分	処理方法	処理施設等	処理実績(トン)	
豊橋市	もやすごみ	焼却・溶融	豊橋市資源化センター(焼却処理施設)	70,022	
	プラスチック(資源)	リサイクル	豊橋市プラスチックリサイクルセンター	3,834	
	こわすごみ	リサイクル	豊橋市西部環境センター	3,188	
	大きなごみ	リサイクル	豊橋市資源化センター(再利用施設)	268	
	うめるごみ	埋立	豊橋市廃棄物最終処分場	11,398	
	資源	びん・カン	リサイクル	豊橋市資源リサイクルセンター	5,228
		ペットボトル	リサイクル	豊橋市資源リサイクルセンター	550
		古紙	リサイクル	環境センター(リサイクルステーション)	1,294
		布類	リサイクル	豊橋市資源化センター(積込ヤード)	1,263
		危険ごみ	リサイクル	豊橋市資源化センター(再利用施設)	179
	田原市	もやせるごみ	炭化	田原リサイクルセンター	7,533
		もやせないごみ	炭化リサイクル埋立	田原リサイクルセンターまたは資源化センター等	1,593
		粗大ごみ	炭化リサイクル埋立	または最終処分場	
紙類		リサイクル	田原市東部資源化センターまたは田原市赤羽根環境センターまたは田原市瀧美資源化センター	7,399	
布類		リサイクル			
空缶		リサイクル			
小物金属		リサイクル			
有害ごみ		リサイクル			
ガラスびん		リサイクル			
ペットボトル		リサイクル			
プラスチック容器類		リサイクル			
白色トレイ		リサイクル			
(持込剪定枝)		リサイクル			田原市赤羽根環境センター
割れガラス、陶器類	埋立	田原市赤羽根環境センター(最終処分場)または田原市瀧美最終処分場	1,593		

今後(平成32年度)							
市名	分別区分	処理方法	処理施設等		処理目標(トン)		
			一次処理	二次処理			
豊橋市	もやすごみ	焼却・溶融	発電	豊橋市資源化センター(焼却処理施設)	残渣物のリサイクル	35,961	
	生ごみ	リサイクル	メタンガス化	バイオマス資源利活用施設	残渣物のリサイクル	17,793	
	プラスチック(資源)	リサイクル	選別・圧縮	豊橋市プラスチックリサイクルセンター	資源化(委託)	3,335	
	こわすごみ	リサイクル	選別	豊橋市西部環境センター	資源化(委託)	2,709	
	大きなごみ	リサイクル	破碎・選別	豊橋市資源化センター(再利用施設)	資源化(委託)	218	
	うめるごみ	埋立	—	豊橋市廃棄物最終処分場	—	9,533	
	資源	びん・カン	リサイクル	選別	豊橋市資源リサイクルセンター	資源化(委託)	5,350
		ペットボトル	リサイクル	選別	豊橋市資源リサイクルセンター	資源化(委託)	696
		古紙	リサイクル	保管	環境センター(リサイクルステーション)	資源化(委託)	9,448
		布類	リサイクル	保管	豊橋市資源化センター(積込ヤード)	資源化(委託)	1,520
		危険ごみ	リサイクル	保管	豊橋市資源化センター(再利用施設)	資源化(委託)	231
	持込剪定枝	リサイクル	チップ化	豊橋市資源化センター(剪定枝リサイクル施設)	資源化(売却)	1,481	
	田原市	もやせるごみ	炭化	—	田原リサイクルセンター	残渣物のリサイクル	6,430
もやせないごみ		炭化リサイクル埋立	選別	田原リサイクルセンターまたは資源化センター等	資源化(委託)	1,434	
粗大ごみ		炭化リサイクル埋立	破碎・選別	または最終処分場	資源化(委託)		
紙類		リサイクル	保管	田原市東部資源化センターまたは田原市赤羽根環境センターまたは田原市瀧美資源化センター	資源化(委託)	6,757	
布類		リサイクル	保管		資源化(委託)		
空缶		リサイクル	保管		資源化(委託)		
小物金属		リサイクル	保管		資源化(委託)		
有害ごみ		リサイクル	保管		資源化(委託)		
ガラスびん		リサイクル	保管		資源化(委託)		
ペットボトル		リサイクル	保管		資源化(委託)		
プラスチック容器類		リサイクル	保管		資源化(委託)		
白色トレイ		リサイクル	保管		資源化(委託)		
(持込剪定枝)		リサイクル	チップ化		田原市赤羽根環境センター		資源化(配布)
割れガラス、陶器類	埋立	—	田原市赤羽根環境センター(最終処分場)または田原市瀧美最終処分場	—	1,434		

※ 分別区分については、区分された廃棄物が具体的にどのような廃棄物を指すかを〔別添資料4〕に説明

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

上記(2)の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表 10 のとおり必要な施設整備を行う。

表 10 実施する整備事業

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間	
					開始	終了
1	マテリアルリサイクル推進施設	(仮称)豊橋田原ごみ処理広域施設整備事業	68t/日	豊橋市資源化センター周辺	(H33)	(H34)
2	エネルギー回収型廃棄物処理施設	(仮称)豊橋田原ごみ処理広域施設整備事業	520t/日	豊橋市資源化センター周辺	(H33)	(H34)
3	マテリアルリサイクル推進施設	豊橋市ピンカンストックヤード整備事業	300m ²	豊橋市南部環境センター敷地内	H28	H28
4	マテリアルリサイクル推進施設	(仮称)田原市資源ごみ処理施設整備事業	未定	田原市東部資源化センターまたは田原市赤羽根環境センターまたは田原市渥美資源化センター	(H34)	(H35)

※現有処理施設の概要(市町村別の現有施設名・種類、処理する廃棄物、処理能力、所在地、竣工年等、施設の概要について一覧表としたもの)を〔別添資料 5〕に添付
 ※次期計画期間にまたがる事業は、全体事業期間を()で示す

(整備理由)

- 事業番号 1 既存施設の老朽化への対処、集約化、不燃ごみ、粗大ごみの破碎・選別及び資源化の促進
- 事業番号 2 既存施設の老朽化への対処、集約化、エネルギーの有効利用の促進
- 事業番号 3 分別収集体制の見直しに伴う対処、分別精度の向上
- 事業番号 4 既存施設の老朽化への対処、集約化、及び資源化の促進

イ 合併処理浄化槽

合併浄化槽の整備については、表 11 のとおり行う。

表 11 合併処理浄化槽の整備計画

事業番号	事業	直近の整備 済み基数(H25)	整備計画 基数	整備計画 人口	事業期間
5	豊橋市浄化槽設置整備事業	7,704	209	585	H27～31
6	田原市浄化槽設置整備事業	44	80	535	H27～31

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表 12 のとおり計画支援事業を行う。

表 12 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間 (全体事業期間)	
			開始	終了
31	(仮称)豊橋田原ごみ処理広域施設整備事業(事業番号 1,2)に 係るごみ処理施設基本設計事業	基本設計	H27	H27
	(仮称)豊橋田原ごみ処理広域施設整備事業(事業番号 1,2)に 係る発注仕様書作成・発注者支援事業	発注者支援	H30	(H32)
	(仮称)豊橋田原ごみ処理広域施設整備事業(事業番号 1,2)に 係る環境影響評価	環境影響評価	H27 (H26)※	H30
	(仮称)豊橋田原ごみ処理広域施設整備事業(事業番号 1,2)に 係る運営体制検討調査	PFI 導入可能 性調査等	H27	H27
	(仮称)豊橋田原ごみ処理広域施設整備事業(事業番号 1,2)に 係る地質調査・用地測量事業	地質調査 用地測量	H29	H30
32	(仮称)田原市資源ごみ処理施設整備事業(事業番号 4)に 係る基本計画事業	基本計画	H30	H30
	(仮称)田原市資源ごみ処理施設整備事業(事業番号 4)に 係る測量・地質調査事業	測量地質調査	H31	H31
	(仮称)田原市資源ごみ処理施設整備事業(事業番号 4)に 係る焼却施設解体調査・基本設計事業	調査基本設計	H31	H31

※全体事業期間を()で示す

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 再生利用品の需要拡大事業

① バイオマスの利活用

● 豊橋市

バイオマス利活用センターを平成 29 年度に整備し、下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみ（家庭系及び事業系）のメタンガス化を行い、エネルギーとして有効利用を図っていく。

また、発酵後汚泥を炭化し、炭化燃料として有効利用を図っていく。

● 田原市

今後、生ごみ等のバイオマス資源の利活用を検討していく。

② 熔融スラグの有効利用

● 豊橋市

豊橋市資源化センター（ガス化熔融施設）では、ごみから金属類を回収し、灰分は熔融しスラグとして有効利用している。

③ 炭化物の有効利用

● 田原市

田原リサイクルセンター（炭生館）（炭化施設）では、ごみから炭化物を生成して有効利用し、ごみに混入した金属類は回収し売却している。計画施設稼働までは、炭化を継続していく。

イ 廃家電のリサイクルに関する普及啓発

● 豊橋市・田原市

廃家電のリサイクルについては、家電リサイクル法や小型家電リサイクル法などに基づく、適切な回収、再商品化・資源化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。

ウ 不法投棄対策

● 豊橋市

不法投棄防止の広報活動による啓発やパトロール、看板や監視カメラの設置を行っている。また、愛知県警察本部豊橋警察署の協力を得て年に 1 回県警のヘリコプターに搭乗し、産業廃棄物処理施設等で地上から監視できない場所を中心に上空から監視するスカイパトロールを実施している。

今後もこれを継続し、不法投棄の早期発見・早期解決につなげていく。

● 田原市

不法投棄防止の広報活動による啓発やパトロール、看板等の設置を行っている。

今後もこれを継続し、不法投棄の防止を図っていく。

エ 災害時の廃棄物処理に関する事項

豊橋市については「豊橋市地域防災計画」（平成 28 年 2 月修正）、「豊橋市災害廃棄物処理計画」（平成 28 年 3 月）及び「廃棄物班行動マニュアル」（平成 27 年 3 月改訂）、田原市については「田原市地域防災計画」（平成 27 年 6 月修正）及び「田原市災害廃棄物処理計画」（平成 28 年 11 月）を踏まえ、災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺地域との連携体制を構築する。

また、愛知県では平成 28 年 10 月に「愛知県災害廃棄物処理計画」を策定した。今後、当該計画と整合性を図りながら、諸条件に変動があった場合には、構成市それぞれにおいて、災害廃棄物処理計画の改訂を行っていく。仮置場の候補地を、表 13 に示す。

表 13 仮置場の候補地

市名	仮置場の候補地
豊橋市	最終処分場、公園・広場等の市有地
田原市	廃棄物処理施設、公園、駐車場、保育園跡地、空地等の市有地

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

豊橋市及び田原市は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、両市、愛知県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果を取りまとめた時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成26年度)

1. 地域の概要

(1)地域名	豊橋田原ブロック	(2)地域内人口	443,922人 (H26.4.1現在)	(3)地域面積	452.98 km ²
(4)構成市町村等名	豊橋市、田原市	(5)地域の要件※	人口 面積 沖繩 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(5)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	①組合を構成する市町村： ②設立(予定)年月日： ③設立されていない場合、今後の見通し：				

※ 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○をつける。

2. 減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位\年度	過去の状況・現状(排出量に対する割合)					目標	
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成32年度	(H32/H25)
事業系 総排出量(トン)	50,860	47,941	47,427	45,202	47,012	44,061	(-6.3%)
1事業所当たりの排出量(トン/事業所)	2.63	2.58	2.57	2.49	2.58	2.44	(-5.4%)
家庭系 総排出量(トン)	120,413	117,133	117,478	116,587	115,342	104,330	(-9.5%)
1人当たりの排出量(kg/人)	222.4	217.4	221.2	221.5	220.3	181.6	(-17.6%)
合計 事業系家庭系排出量合計(トン)	171,273	165,074	164,905	161,789	162,354	148,391	(-8.6%)
集団回収 集団回収みり量(トン)	9,508	9,513	9,117	8,937	8,746	8,200	(-8.5%)
総合計 事業系家庭系集団回収排出量合計(トン)	180,781	174,587	174,022	170,726	171,100	156,591	(-8.5%)
再生利用量	10,926 (6.4%)	10,481 (6.3%)	10,132 (6.1%)	9,392 (5.8%)	9,009 (5.5%)	16,971 (11.4%)	(88.4%)
熱回収量	35,409 (19.6%)	35,307 (20.2%)	35,272 (20.3%)	36,914 (21.6%)	35,621 (20.8%)	44,305 (28.3%)	(24.4%)
中間処理による減量化量	35,664 (19.6%)	34,766 (19.8%)	33,136 (19.5%)	32,120 (19.3%)	32,597 (19.5%)	24,988 (15.2%)	(-23.3%)
最終処分量	129,812 (75.8%)	124,147 (75.2%)	125,239 (75.9%)	121,886 (75.3%)	122,488 (75.4%)	101,319 (68.3%)	(-17.3%)
立立最終処分量	15,560 (9.1%)	15,133 (9.2%)	13,511 (8.2%)	11,926 (7.4%)	12,991 (8.0%)	10,967 (7.4%)	(-15.6%)

※ 指標と人口等の要因に關するトレンドグラフを(別添資料2)に添付した。(排出量は現状に対する割合、総資源化量は排出量と集団回収量の和に対する割合、その他の排出量に対する割合を示す。)

3. 一般廃棄物施設の状況と更新、廃止、新設の予定 (1/2)

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容				備考	
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月		処理能力(単位)
エネルギー回収型推進施設	豊橋市	キルン式ガス溶融炉、ストカ炉	有	550(t/日)	H14.4.H3.3						豊橋市資源化センター
	田原市	流動床式炭化炉	有	60(t/日)	H17.4						田原市リサイクルセンター
マテリアルサイクル推進施設	豊橋市		有								豊橋市資源化センター
	田原市	破砕	有	70(t/日)	H14.4						豊橋市資源化センター
マテリアルサイクル推進施設	豊橋市	チップ化	有	10(t/日)	H24.4						豊橋市資源化センター
		選別、圧縮減容	無	49.2(t/日)	H2.4.H10.7						豊橋市資源リサイクルセンター
		選別、圧縮梱包	有	29(t/日)	H17.4						豊橋市プラスチックリサイクルセンター

※ 計画地域内の施設の状況(現状、予定)を地図上に示したものを(添付資料1)に示した。

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1(平成26年度)

3. 一般廃棄物施設の状態と更新、廃止、新設の予定 (2/2)

施設種別	事業主体	現有施設の内容			更新、廃止、新設の内容				備考		
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新、廃止予定年月	更新、廃止理由	型式及び処理方式		施設竣工予定年月	処理能力(単位)
マテリアルサイクル推進施設	豊橋市	選別	無	—	H23.10	—	—	—	—	豊橋市西部環境センター	
		—	—	—	—	H29.4	分別収集体制の変更	一時貯留	H29.3	300(m ²)	
		破砕、圧縮、保管	有	15(t/5h)、162(m ³)	H6.4	H32.3	老朽化、集約化	—	—	—	田原市東部資源化センター
し尿処理施設	豊橋市	保管	有	156(m ³)	H6.10	H32.3	老朽化、集約化	—	—	田原市赤羽根環境センター	
		保管	有	346(m ³)	H19.4	H32.3	老朽化、集約化	—	—	田原市遷美資源化センター	
最終処分場	豊橋市	—	—	—	—	H36.4	集約化	破砕、圧縮、保管 選別、展示	H36.3	未定	
		標準脱窒素	有	243(kl/日)	S55.11	H29.10	バイオマス資源利活用事業への転換	—	—	—	豊橋市資源化センター
		嫌気性消化、好気性消化、活性汚泥	有	100(kl/日)	S41.4	—	—	—	—	—	田原市衛生センター
		セル、準好気性	有	1,850,000(m ³)	H4.11、H23.4	—	—	—	—	—	豊橋市廃棄物最終処分場
		サンドイッチ	有	40,600(m ³)	H19.4	—	—	—	—	—	田原市第二東部最終処分場
最終処分場	田原市	サンドイッチ、準好気性	有	12,200(m ³)	H6.10	—	—	—	—	—	田原市赤羽根環境センター、埋立処分場
		サンドイッチ、セル	有	150,500(m ³)	H7.7	—	—	—	—	—	田原市遷美最終処分場

※ 計画地域内の施設の状態(現況、予定)を地図上に示したものを(添付資料1)に示した。

4. 生活排水処理の現状と目標

指標・単位\年度	過去の状況・現状				目標	
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成32年度
総人口(年度末人口)	447,863	446,578	445,277	445,111	443,547	437,835 (-1.3%)
公共下水道	288,703 (64.5%)	289,505 (64.8%)	289,754 (65.1%)	289,753 (65.1%)	290,830 (65.6%)	296,952 (67.8%) (3.4%)
集落排水施設等	53,563 (12.0%)	54,506 (12.2%)	55,172 (12.4%)	56,717 (12.7%)	57,799 (13.0%)	59,091 (3.8%)
合併処理浄化槽等	42,079 (9.4%)	41,752 (9.3%)	42,584 (9.6%)	43,604 (9.8%)	43,573 (9.8%)	57,087 (31.0%) (32.7%)
未処理人口	63,518	60,815	57,767	55,037	51,345	24,705 (-51.9%)

※ 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを(別添資料3)に添付した。

5. 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容(平成25年度未時点)			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	豊橋市	7,704基	26,619人	昭和63年4月	209基	585人	平成32年度	
浄化槽設置整備事業	田原市	44基	291人	平成22年4月	80基	535人	平成32年度	

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成26年度)

事業種別	事業番号 ※1	事業主体 名称※2	規模 単位	事業期間 交付期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考		
				開始	終了	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30	H31			
○再生利用に関する事業																		
○ピカレストックヤード整備 事業	3	豊橋市	—	H28	H28	44,932	44,932	44,932	44,932	44,932	44,932	44,932	44,932	44,932	44,932	44,932	44,932	
○浄化槽に関する事業																		
豊橋市浄化槽設置 整備事業	5	豊橋市	209 基	H27	H31	107,944	20,891	27,818	20,318	19,745	19,172	94,130	18,244	24,178	17,740	17,236	16,732	
田原市浄化槽設置 整備事業	6	田原市	80 基	H27	H31	32,150	6,430	6,430	6,430	6,430	6,430	32,150	6,430	6,430	6,430	6,430	6,430	
○施設整備に関する 計画支援事業																		
ごみ処理施設 基本設計事業		豊橋市	—	H27	H27	7,452	7,452	7,452	7,452	7,452	7,452	7,452	7,452	7,452	7,452	7,452	7,452	※5
発注仕様書作成・ 発注者支援事業		豊橋市	—	H30	(H32)	22,950 (33,400)	8,100	8,100	8,100	8,100	14,850	22,950	8,100	8,100	8,100	14,850	14,850	※5
環境影響評価	31	豊橋市	—	H27 (H26)	H30	90,503 (91,503)	2,790	2,729	59,144	25,840	90,503	2,790	2,729	59,144	25,840	25,840	25,840	※5 ※6
運営体制検討調査		豊橋市	—	H27	H27	3,294	3,294	3,294	3,294	3,294	3,294	3,294	3,294	3,294	3,294	3,294	3,294	
地質調査・用地測量 事業		豊橋市	—	H29	H30	24,000	17,000	17,000	7,000	7,000	24,000	17,000	17,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
(仮称)資源ごみ処理施設 整備事業基本計画		田原市	—	H30	H30	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
(仮称)資源ごみ処理施設 整備事業測量地質調査		田原市	—	H31	H31	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	
(仮称)資源ごみ処理施設 整備事業解体調査基本設 計		田原市	—	H31	H31	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	
合 計						358,725 (370,175)	40,857	81,909	102,892	75,115	57,952	344,911	38,210	78,259	100,314	72,606	55,512	※5

※1 事業番号については、計画本文3(3)表10～11、(4)表12に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式3に示す施策のうち関連するものがあれば、併せて番号を記入すること。
 ※2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。
 ※3 実施しない事業の欄は削除して構わない。
 ※4 同一施設の整備であっても、交付金を受ける事業主体ごとに記載する。
 ※5 括弧内は事業全体の総事業費を示す。
 ※6 環境影響評価は平成26年度に計画段階環境配慮書の手続きを実施している。

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号 ※1	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考	
					開始	終了		H27	H28	H29	H30	H31		
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	ごみ処理の有料化	家庭系ごみは「大きなごみ」の個別有料収集を行っている。今後、他のごみについても有料化を検討していく。 事業系ごみは処理手数料の徴収を行っている。今後、必要に応じて見直しを検討していく。	豊橋市	H27	H31							大きなごみの有料収集継続 家庭系ごみ有料化を検討 事業系ごみ処理手数料適宜見直し	
			家庭系ごみは、負担の公平性や有料化方式などを検証し、有料化を検討していく。 事業系ごみは処理手数料の徴収を行っている。今後、必要に応じて見直しを検討していく。	田原市	H27	H31								家庭系ごみ有料化を検討 家庭系ごみ有料化 事業系ごみ処理手数料適宜見直し
	12	環境教育、普及啓発、助成	環境教育として、幼児及び小学生への環境教育、生ごみ減量に関する講習会等、出前講座を行っている。 普及啓発として、ガイドブックの配付、収集日程表の配付・配信、集団回収に関する啓発を行っている。 助成として、生ごみ処理機購入補助金制度及び地域資源回収団体奨励金制度を設けている。今後、必要に応じて見直しを検討していく。	豊橋市	H27	H31							小学生への環境教育 生ごみの減量について 出前講座の実施 幼児環境教育の実施 ガイドブックの配付 収集日程表の配付・配信 集団回収に関する啓発 生ごみ処理機購入補助金制度 地域資源回収団体奨励金制度	
			環境教育として、3Rに関する各種教室の開催、ごみ処理施設の見学、自治会・事業所・学校等を通じた学習を行っている。 普及啓発として、パンフレットなどの作成、ごみ減量等推進員による現場指導、自治会・事業所・学校等を通じた啓発を行っている。 助成として、生ごみ処理容器等設置事業補助金制度を設けている。今後もこれらを継続していく。	田原市	H27	H31								3Rに関する各種教室の開催 ごみ処理施設の見学 自治会・事業所・学校等を通じた学習 パンフレットなどの作成 廃棄物減量等推進員による現場指導 自治会・事業所・学校等を通じた啓発 生ごみ処理容器等設置事業補助金制度
	13	マイバッグ運動・レジ袋対策	市内販売店や530運動環境協議会と協力して、レジ袋有料化を行っており、今後も継続していく。	豊橋市	H27	H31							レジ袋有料化	
			協定を締結した店舗を対象に、レジ袋の有料化を行っており、今後も継続していく。	田原市	H27	H31								レジ袋有料化
	14	生活排水対策	環境関連イベントにおける啓発活動、浄化槽を正しく維持管理するための「浄化槽管理手帳」の配付を行っており、今後も継続していく。	豊橋市	H27	H31								環境関連イベントにおける啓発活動 浄化槽管理手帳の配付
			河川水質調査の結果公表、環境関連イベントにおける普及啓発を行っており、今後も継続していく。	田原市	H27	H31								河川水質調査の結果公表 環境関連イベントにおける普及啓発

※1 処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文3(3)表10～11、(4)表12に示す事業番号及び様式2の事業番号と一致させること。

施策種別	事業番号 ※1	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考	
					開始	終了		H27	H28	H29	H30	H31		
処理体制 の構築、 変更に関 するもの	21	家庭系ごみの 処理体制	生ごみはバイオマス資源として 有効利用を図る。 残った可燃ごみは、広域施設を 整備し、処理を進めていく。	豊橋市	H27	H31		バイオマス利活用 センター整備						
								H29竣工予定						
									広域施設の検討					
				生ごみはバイオマス資源としての 利活用を検討。 残った可燃ごみは、広域施設を 整備し、処理を進めていく。	田原市	H27	H31		生ごみ利活用の検討					
									広域施設の検討					
	22	事業系ごみ (一般廃棄物) の処理体制	対象事業所へ減量計画書の提出 要請、「ごみ減量行動マニュアル」 の作成及び啓発を継続して いく。 新たに搬入検査の強化、古紙な どの搬入制限について検討して いく。 生ごみはバイオマス資源として 有効活用を図る。	豊橋市	H27	H31		減量計画書の提出要請 ごみ減量行動マニュアルでの啓発						
								搬入検査強化・ 搬入制限の検討						
								バイオマス利活用 センター整備						H29竣工予定
				発生抑制、資源循環利用の取 組促進を継続していく。 抜取検査等による分別徹底を 図っていく。	田原市	H27	H31		発生抑制、資源循環利用の取 組促進					
									抜取検査等による分別徹底					
	23	一般廃棄物と 併せて処理す る産業廃棄物	「紙くず」「木くず」「繊維くず」「動 植物性残さ」を受入れているが、施 設負担軽減の観点から見直しを 検討していく。	豊橋市	H27	H31		産廃受入の 見直しを検討						
	24	生活排水 処理	下水道の整備・早期接続、合併 処理浄化槽または農業集落排 水施設等への転換を推進してお り、今後も継続していく。 下水汚泥、し尿及び浄化槽汚 泥、生ごみを併せてバイオマス 資源として有効利用する。	豊橋市	H27	H31		生活雑排水処理率向上の推進						
バイオマス利活用 センター整備								H29竣工予定						
			下水道及び農業集落排水の整 備・早期接続、合併処理浄化槽 への転換を推進しており、今後も 継続していく。	田原市	H27	H31		生活雑排水処理率向上の推進						
処理施設 の整備に 関するも の	1	(仮称)豊橋田 原ごみ処理 広域施設整 備事業	豊橋市・田原市の広域で、マテ リアルリサイクル推進施設 (68t/日)を整備する。	豊橋市 田原市	(H33)	(H34)	○						※2	
	2	(仮称)豊橋田 原ごみ処理 広域施設整 備事業	豊橋市・田原市の広域で、エネ ルギー回収型廃棄物処理施設 (520t/日)を整備する。	豊橋市 田原市	(H33)	(H34)	○						※2	
	3	豊橋市ピンカ ンストックヤ ード整備事業	豊橋市の分別収集体制の見直 しに伴い、ピンカンストックヤ ードを整備する。	豊橋市	H28	H28	○	施設整備						
	4	(仮称)田原 市資源ごみ 処理施設整 備事業	田原市の老朽化資源ごみ処理 施設3か所を1か所へ統合整備 し、効率的な運営を図る。	田原市	(H34)	(H35)	○						※2	
	5	豊橋市浄化 槽設置整備 事業	合併処理浄化槽の整備(209 基)を行う。	豊橋市	H27	H31	○	合併処理浄化槽の整備						
	6	田原市浄化 槽設置整備 事業	合併処理浄化槽の整備(80基) を行う。	田原市	H27	H31	○	合併処理浄化槽の整備						

※1 処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文3(3)表10～11、(4)表12に示す事業番号及び様式2の事業番号と一致させること。

※2 ()で示す事業期間は、次期計画に係る。

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	事業番号 ※1	施策の名称等	施策の概要	実施主体	事業期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考	
					開始	終了		H27	H28	H29	H30	H31		
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	事業番号1,2に係る計画支援事業	ごみ処理施設基本設計事業	豊橋市 田原市	H27	H27	○	設計						事業番号1,2に関連
			発注仕様書作成・発注者支援事業		H30	(H32)					発注仕様書作成			
			環境影響評価 *平成26年度に計画段階環境配慮書の手続きを実施		H27 (H26)	H30	○	方法書～評価書						
			運営体制検討調査		H27	H27	○	調査						
			地質調査・用地測量事業		H29	H30	○				調査			
	32	事業番号4に係る計画支援事業	基本計画	田原市	H30	H30	○				計画		事業番号4に関連	
			測量地質調査		H31	H31	○					調査		
			焼却施設解体調査基本設計		H31	H31	○					調査		
その他	41	再生利用品の需要拡大事業	豊橋市資源化センター1、2号炉において金属回収、溶融スラッグの有効利用を行っている。新たに下水汚泥、し尿及び浄化槽汚泥、生ごみを併せてバイオマス資源として有効利用する。	豊橋市	H27	H31		金属回収、溶融スラッグの有効利用						
			田原リサイクルセンターにおいて炭化物の有効利用、ごみに混入した金属回収を行っている。生ごみ等の利活用を検討していく。					田原市	H27	H31		バイオマス利活用センター整備 H29竣工予定		
	42	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。	豊橋市	H27	H31						普及啓発		
			関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。					田原市	H27	H31		普及啓発		
	43	不法投棄対策	広報活動、パトロール、看板や監視カメラの設置、スカイパトロールを行っており、今後も継続していく。	豊橋市	H27	H31						広報活動、パトロール等		
			広報活動、パトロール、看板等の設置を行っており、今後も継続していく。					田原市	H27	H31		広報活動、パトロール等		
	44	災害時の廃棄物処理に関する事項	災害廃棄物処理計画を策定(改訂)するほか、地域内及び周辺地域との連携体制を構築する。	豊橋市	H27	H31						計画	随時改訂	
			災害廃棄物処理計画を策定(改訂)するほか、地域内及び周辺地域との連携体制を構築する。					田原市	H27	H31		計画	随時改訂	

※1 処理施設の整備に係る事業番号については、計画本文3(3)表10～11、(4)表12に示す事業番号及び様式2の事業番号と一致させること。

施設概要(リサイクル施設系)

【参考資料様式 1】

都道府県名: 愛知県

(1) 事業主体名	豊橋市、田原市
(2) 施設名称	(仮称)豊橋田原ごみ処理広域施設
(3) 工期	平成 33 年度～平成 34 年度
(4) 施設規模	処理能力 68 t/日
(5) 処理方式	不燃ごみ・粗大ごみ 破碎・選別
(6) 地域計画内の役割	豊橋市、田原市の広域ブロックのごみ処理
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
(8) 事業計画額	計画期間内 0 千円 全体 (3,253,000 千円)

* 今後実施する発注仕様書作成・発注者支援事業の中で、整備する設備の仕様などを決定していく。

* 工期は次期計画期間となる。

施設概要(リサイクル施設系)

【参考資料様式1】

都道府県名: 愛知県

(1) 事業主体名	豊橋市
(2) 施設名称	豊橋市南部環境センター ビンカンストックヤード
(3) 工期	平成 28 年度 ~ 平成 28 年度
(4) 施設規模	300 m ²
(5) 処理方式	資源ごみ ビンカン一時貯留
(6) 地域計画内の役割	豊橋市の収集運搬
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
(8) 事業計画額	44,932 千円

施設概要(リサイクル施設系)

【参考資料様式1】

都道府県名: 愛知県

(1) 事業主体名	田原市
(2) 施設名称	(仮称)田原市資源ごみ処理施設
(3) 工期	平成 34 年度 ~ 平成 35 年度
(4) 施設規模	未定
(5) 処理方式	資源・不燃ごみ 破碎、圧縮、保管、選別、展示
(6) 地域計画内の役割	田原市の収集運搬
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
(8) 事業計画額	計画期間内 0 千円 全体 (505,000 千円)

* 今後実施する基本設計の中で、整備する設備の規模及び仕様などを決定していく。

* 工期は次期計画期間となる。

施設概要(熱回収施設系)

【参考資料様式 2】

都道府県名: 愛知県

(1) 事業主体名	豊橋市、田原市
(2) 施設名称	(仮称)豊橋田原ごみ処理広域施設
(3) 工期	平成 33 年度 ~ 平成 34 年度
(4) 施設規模	処理能力 520 t/日
(5) 処理方式	今後の設備計画の検討の中で検討する
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 発電効率 (%) ・ 無 2. 熱回収の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 熱回収率 (%) ・ 無
(7) 地域計画内の役割	豊橋市、田原市の広域ブロックのごみ処理
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
(9) スラッグの利用計画	今後の設備計画の検討の中で検討する
(10) 発生ガス回収効率及び発生ガス量	1. 発生ガス回収効率 Nm ³ /t 2. 発生ガス量 Nm ³ /日
(11) 回収ガスの利用計画	今後の設備計画の検討の中で検討する
(12) 事業計画額	計画期間内 0 千円 全体 (22,193,000 千円)

* 今後実施する発注仕様書作成・発注者支援事業の中で、整備する設備の仕様などを決定していく。

* 工期は次期計画期間となる。

施設概要(浄化槽系)

【参考資料様式 5】

都道府県名: 愛知県

(1) 事業主体名	豊橋市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、合併処理浄化槽の設置整備を図る。
(4) 事業期間	平成 27 年度～平成 31 年度
(5) 事業対象地域の要件	豊橋市域のうち、下水道法に基づく公共下水道及び流域下水道の認可区域以外の地域で、次に定める区域を除く地域とする。 ①豊橋市地域下水道条例(平成11年3月31日条例第28号)で定める地域下水道処理区域 ②その他市長が指定する区域
(6) 事業計画額	交付金対象事業費 94,130 千円 うち ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 94,130 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 千円

○事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (585 人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象事業費
5人槽	75 基(210 人分)	45 基	28,950 千円	33,150 千円	28,950 千円
6～7人槽	118 基(330 人分)	74 基	55,512 千円	63,654 千円	55,512 千円
8～10人槽	16 基(45 人分)	10 基	9,668 千円	11,140 千円	9,668 千円
改築	基				
計画策定調査費					
合計(改築を除く)	209 基(585 人分)	129 基	94,130 千円	107,944 千円	94,130 千円

○事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

(複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること)

市町村総人口: 人 市町村世帯数: 世帯

対象地域人口: 人 対象地域世帯数: 世帯

区分	総建設費	1年当たり建設費	1年当たり維持管理費	1年当たりコスト
集合処理で整備した場合	千円	千円	千円	千円
個別処理で整備した場合	千円	千円	千円	千円

※ 施設比較検討の積算内容資料を添付(様式は自由)

施設概要(浄化槽系)

【参考資料様式 5】

都道府県名： 愛知県

(1) 事業主体名	田原市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	公共用水域への生活雑排水の流入を低減するため、合併処理浄化槽の設置整備を図る。
(4) 事業期間	平成 27 年度～平成 31 年度
(5) 事業対象地域の要件	田原市のうち次に定める区域を除く地域とする。 ①下水道法に基づく公共下水道事業認可区域 ②農業集落排水事業整備区域(事業採択区域を含む) ③その他市長が指定する地域(臨海工業地域ほか)
(6) 事業計画額	交付金対象事業費 32,150 千円 うち ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 千円

○事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (535 人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象事業費
5人槽	20 基(100 人分)	0 基	6,640 千円	6,640 千円	6,640 千円
6～7人槽	55 基(385 人分)	0 基	22,770 千円	22,770 千円	22,770 千円
8～10人槽	5 基(50 人分)	0 基	2,740 千円	2,740 千円	2,740 千円
改築	基				
計画策定調査費					
合計(改築を除く)	80 基(535 人分)	0 基	32,150 千円	32,150 千円	32,150 千円

○事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

(複数の地区が該当する場合は、当該地区ごとに下表を添付すること)

市町村総人口： 人 市町村世帯数： 世帯

対象地域人口： 人 対象地域世帯数： 世帯

区分	総建設費	1年当たり建設費	1年当たり維持管理費	1年当たりコスト
集合処理で整備した場合	千円	千円	千円	千円
個別処理で整備した場合	千円	千円	千円	千円

※ 施設比較検討の積算内容資料を添付(様式は自由)

計画支援概要

【参考資料様式6】

都道府県名： 愛知県

(1) 事業主体名	豊橋市、田原市		
(2) 事業目的	(仮称)豊橋田原ごみ処理広域施設整備事業(事業番号1.2)		施設整備のため

(3) 事業名称	ごみ処理施設基本設計事業	発注仕様書作成・ 発注者支援事業	環境影響評価
(4) 事業期間	平成 27 年度	平成 30 年度 ~ 平成 31 年度 (全体:30~32年度)	平成 27 年度 ~ 平成 30 年度 (全体:26~30年度)
(5) 事業概要	・ごみ処理施設基本設計	・発注支援 (発注仕様書作成含む)	・環境影響評価 (配慮書~評価書)
(6) 事業計画額	7,452 千円	計画期間内 22,950 千円 (全体: 33,400 千円)	計画期間内 90,503 千円 (全体: 91,503 千円)

(3) 事業名称	運営体制検討調査	地質調査・用地測量事業	
(4) 事業期間	平成 27 年度	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度	
(5) 事業概要	・PFI導入可能性調査等	・地質調査 ・用地測量	
(6) 事業計画額	3,294 千円	24,000 千円	

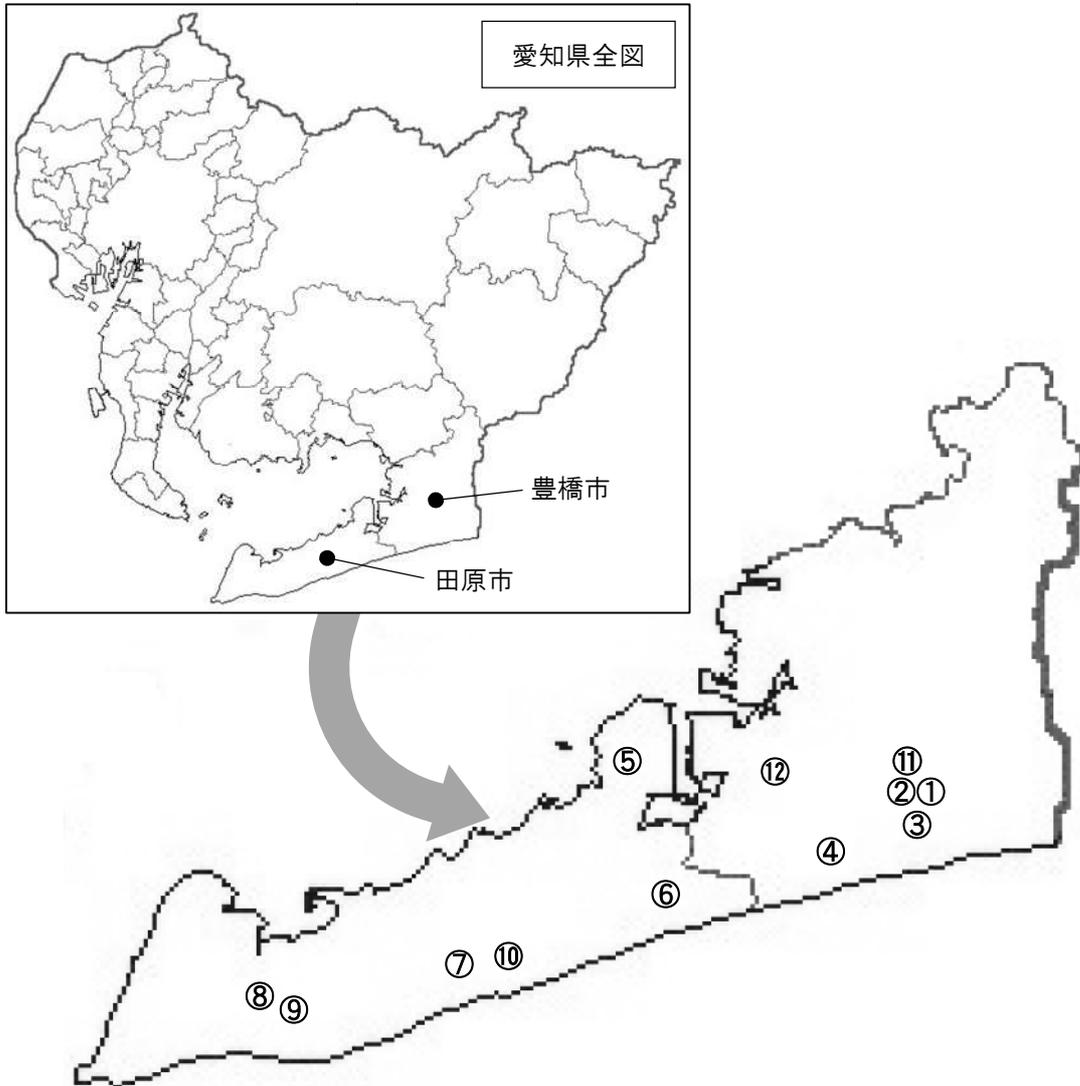
計画支援概要

【参考資料様式6】

都道府県名: 愛知県

(1) 事業主体名	田原市		
(2) 事業目的	(仮称)田原市資源ごみ処理施設整備事業(事業番号4)		施設整備のため

(3) 事業名称	基本計画事業	測量・地質調査事業	解体調査・基本設計事業
(4) 事業期間	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 31 年度
(5) 事業概要	・資源ごみ処理施設基本計画	・資源ごみ処理施設測量 ・資源ごみ処理施設地質調査	・焼却施設解体調査・基本設計
(6) 事業計画額	8,000 千円	2,500 千円	15,000 千円

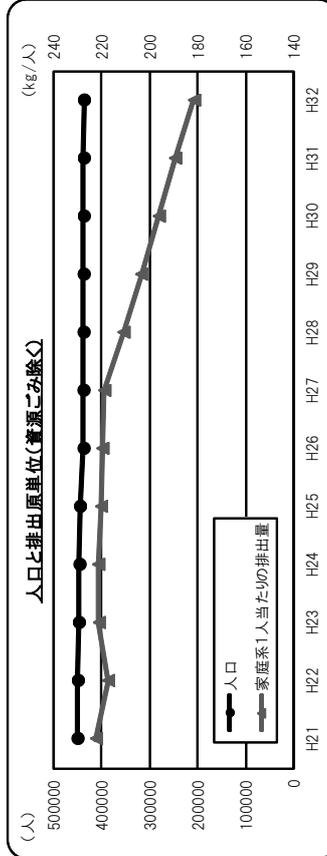
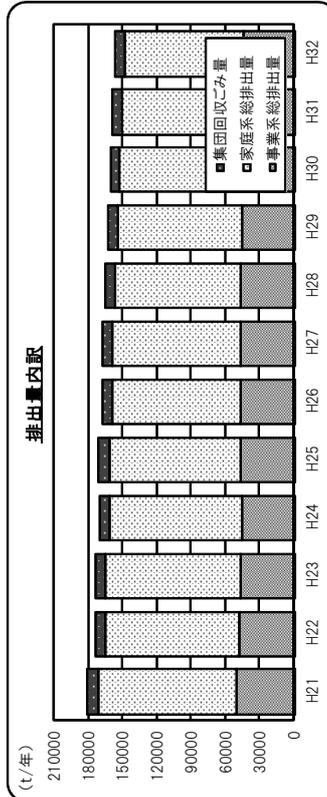


- | | |
|--|-------------------------------------|
| ① 豊橋市資源化センター
(焼却処理施設、再利用施設、
剪定枝リサイクル施設、し尿処理施設) | ⑤ 田原リサイクルセンター(炭生館) |
| ② 豊橋市資源リサイクルセンター | ⑥ 田原市東部資源化センター
田原市第二東部最終処分場 |
| ③ 豊橋市プラスチックリサイクルセンター | ⑦ 田原市赤羽根環境センター
田原市赤羽根環境センター最終処分場 |
| ④ 豊橋市廃棄物最終処分場 | ⑧ 田原市渥美資源化センター |
| ⑪ 豊橋市南部環境センター | ⑨ 田原市渥美最終処分場 |
| ⑫ 豊橋市バイオマス利活用センター | ⑩ 田原市衛生センター |

指標と人口等との要因に関するトレンドグラフ(ごみ)

豊橋市・田原市におけるごみの現状と目標

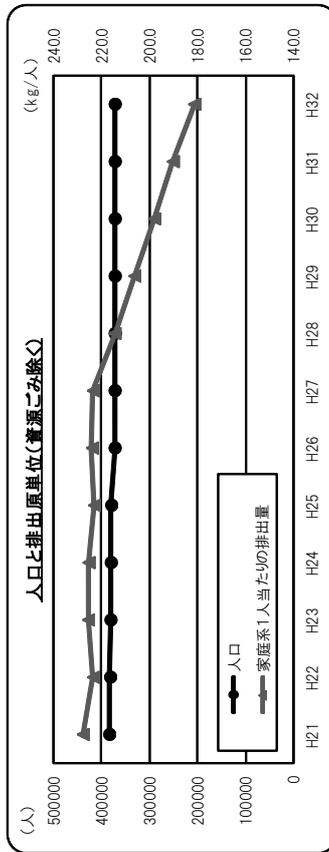
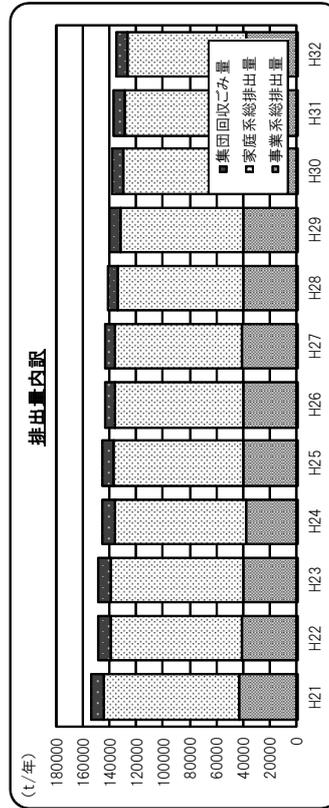
指標・単位\年度	過去の状況・現状(排出量に対する割合)										目標														
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
事業系	算定式																								
事業系総排出量	(ト)	50,860	47,941	47,427	45,202	47,012	47,137	46,404	45,805	45,213	44,760	44,061	47,427	45,202	47,012	47,137	46,404	45,805	45,213	44,760	44,061				
うち資源ごみ量	(ト)	2,077	2,000	1,901	1,830	1,718	1,932	1,874	1,825	1,779	1,739	1,694	1,901	1,830	1,718	1,932	1,874	1,825	1,779	1,739	1,694				
事業系所数	(事業所)																								
1事業所当たりの排出量	ウ	18,528	17,796	17,702	17,412	17,549	17,468	17,444	17,424	17,415	17,406	17,397	17,702	17,412	17,549	17,468	17,444	17,424	17,415	17,406	17,397				
家庭系	エ=(ア-イ)/ウ																								
家庭系総排出量	(ト)	2.63	2.58	2.57	2.49	2.58	2.58	2.52	2.55	2.49	2.47	2.44	2.57	2.49	2.58	2.58	2.52	2.55	2.49	2.47	2.44				
うち資源ごみ量	カ	20,140	19,272	18,385	17,629	17,161	16,609	16,494	16,494	16,494	16,494	16,494	18,385	17,629	17,161	16,609	16,494	16,494	16,494	16,494	16,494				
人口	キ	450,946	450,076	448,024	446,694	445,614	438,071	438,283	437,893	437,708	437,529	437,354	448,024	446,694	445,614	438,071	438,283	437,893	437,708	437,529	437,354				
1人当たりの排出量	ク=(オ-カ)/キ	222.4	217.4	221.2	221.5	220.3	219.8	219.0	203.6	196.3	189.5	181.6	221.2	221.5	220.3	219.8	219.0	203.6	196.3	189.5	181.6				
合計	ケ=エ+ウ	171,273	165,074	164,905	161,789	162,354	159,623	156,950	154,766	152,631	150,871	148,391	164,905	161,789	162,354	159,623	156,950	154,766	152,631	150,871	148,391				
集団回収	コ	9,508	9,513	9,117	8,937	8,746	7,905	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	9,117	8,937	8,746	7,905	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200		
総合計	サ=ケ+コ	180,781	174,587	174,022	170,726	171,100	168,094	165,150	162,966	160,831	159,071	156,591	174,022	170,726	171,100	168,094	165,150	162,966	160,831	159,071	156,591				
再生利用量	シ	10,926	10,481	10,132	9,392	9,009	8,947	10,534	12,142	13,760	15,410	16,971	10,132	9,392	9,009	8,947	10,534	12,142	13,760	15,410	16,971				
処理後資源化量	ス	14,975	15,313	16,023	18,585	17,866	16,490	16,334	18,365	19,179	19,148	19,134	16,023	18,585	17,866	16,490	16,334	18,365	19,179	19,148	19,134				
集団回収ごみ量	セ	9,508	9,513	9,117	8,937	8,746	7,905	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	9,117	8,937	8,746	7,905	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200		
総資源化量	ソ	35,409	35,307	35,272	36,914	35,621	33,712	33,257	35,068	38,707	41,139	44,305	35,272	36,914	35,621	33,712	33,257	35,068	38,707	41,139	44,305				
減量化量	タ	129,812	124,147	125,239	121,886	122,488	120,658	116,736	112,514	108,240	105,075	101,319	125,239	121,886	122,488	120,658	116,736	112,514	108,240	105,075	101,319				
埋立最終処分量	チ	15,560	15,133	13,511	11,926	12,991	13,724	13,684	13,346	11,745	11,238	10,967	13,511	11,926	12,991	13,724	13,684	13,346	11,745	11,238	10,967				
総合計	ツ=ソ+タ+チ	180,781	174,587	174,022	170,726	171,100	168,094	165,150	162,966	160,831	159,071	156,591	174,022	170,726	171,100	168,094	165,150	162,966	160,831	159,071	156,591				
熱回収量	テ	35,664	34,766	33,136	32,120	32,597	31,510	29,336	28,249	27,162	26,075	24,988	33,136	32,120	32,597	31,510	29,336	28,249	27,162	26,075	24,988				



指標と人口等との要因に関するトレンドグラフ(ごみ)

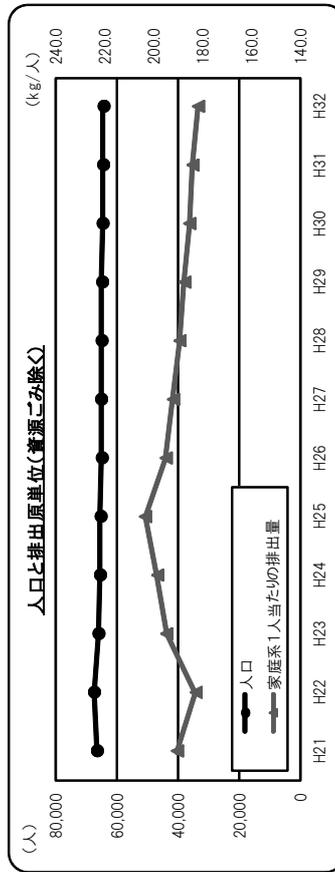
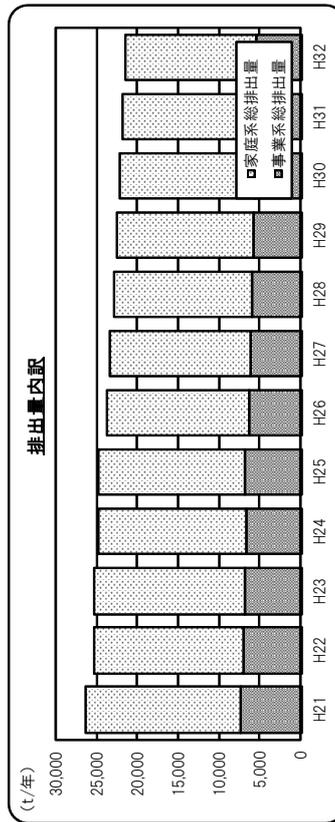
豊橋市におけるごみの現状と目標

指標・単位\年度	過去の状況・現状(排出量に対する割合)										目標				
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33		
事業系															
事業系総排出量	7	43,519	40,818	40,544	38,562	40,200	40,922	40,374	39,932	39,490	39,164	38,612			
うち資源ごみ量	イ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業所数	ウ	15,438	14,884	14,968	14,856	15,009	14,936	14,963	14,948	14,955	14,962	14,969			
1事業所当たりの排出量	エ=(ア-イ)/ウ	2.82	2.74	2.71	2.60	2.68	2.72	2.70	2.67	2.64	2.62	2.58			
家庭系															
家庭系総排出量	オ	101,368	98,892	99,036	98,401	97,224	95,512	93,654	92,293	90,964	89,818	88,275			
うち資源ごみ量	カ	13,785	13,381	12,831	12,472	12,355	11,918	11,857	13,568	17,059	18,815	20,587			
人口	キ	384,328	382,509	381,903	381,103	380,216	373,054	373,032	373,011	372,989	372,967	372,924			
1人当たりの排出量	ク=(オ-カ)/キ	227.9	223.6	225.7	225.5	223.2	224.1	223.7	206.4	198.2	190.4	181.5			
合計	ケ=エ+ウ	144,887	139,710	139,580	136,963	137,424	136,154	136,235	134,028	130,454	128,982	126,887			
集団回収	コ	9,508	9,513	9,117	8,937	8,746	8,185	7,905	8,200	8,200	8,200	8,200			
総合計	サ=ケ+コ	154,395	149,223	148,697	145,900	146,170	144,339	144,140	142,228	138,654	137,182	135,087			
処理・処分量															
直接資源化量	シ	2,494	2,590	2,676	2,405	2,485	2,363	2,378	4,099	5,817	7,538	9,272	10,942		
処理後資源化量	ス	14,244	14,532	15,034	17,677	16,991	15,686	15,613	15,558	17,602	18,428	18,407	18,406		
集団回収ごみ量	セ	9,508	9,513	9,117	8,937	8,746	8,185	7,905	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200		
総資源化量	ソ	26,246	26,635	26,827	29,019	28,222	26,234	25,896	27,857	31,619	34,166	35,879	37,548		
減量化量	タ	114,375	109,197	110,168	106,486	106,550	105,965	106,169	102,554	98,564	94,515	91,525	88,006		
中間処理による減量化量	チ	13,774	13,391	11,702	10,395	11,398	12,140	12,075	11,817	10,242	9,973	9,778	9,533		
埋立最終処分量	ツ=ソ+タ+チ	154,395	149,223	148,697	145,900	146,170	144,339	144,140	142,228	140,425	138,654	137,182	135,087		
総合計	テ	35,664	34,766	33,136	32,120	32,597	31,510	30,423	29,336	27,162	26,075	24,988			
熱回収量															
年間の発電力量															



田原市におけるごみの現状と目標

指標・単位\年度	過去の状況・現状(排出量に対する割合)											目標														
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
排出量	事業系総排出量	(ト)	7,341	7,123	6,883	6,640	6,812	6,380	6,215	6,030	5,873	5,723	5,449													
	うち資源ごみ量	(ト)	2,077	2,000	1,901	1,830	1,718	1,983	1,932	1,874	1,825	1,779	1,739	1,694												
	事業所数	(事業所)	3,090	2,912	2,734	2,556	2,540	2,524	2,508	2,492	2,476	2,460	2,444	2,428												
	1事業所当たりの排出量	(ト/事業所)	1.70	1.76	1.82	1.88	2.01	1.74	1.71	1.71	1.67	1.67	1.60	1.58												
	家庭系総排出量	(ト)	19,045	18,241	18,442	18,186	18,118	17,375	17,173	16,892	16,668	16,454	16,293	16,055												
うち資源ごみ量	(ト)	6,355	5,891	5,554	5,157	4,806	4,691	4,637	4,561	4,500	4,443	4,399	4,335													
人口	(人)	66,618	67,567	66,121	65,591	65,398	65,017	65,074	64,904	64,741	64,583	64,430	64,300													
1人当たりの排出量	(kg/人)	190.5	182.8	194.9	198.6	203.6	195.1	192.1	189.5	187.5	185.5	184.2	181.9													
合計	(事業系家庭系排出量合計)	26,386	25,364	25,325	24,826	24,930	23,755	23,388	22,922	22,541	22,177	21,889	21,504													
集団回収	集団回収ごみ量	(ト)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
総合計	サ=ケ+コ	(ト)	26,386	25,364	25,325	24,826	24,930	23,755	23,388	22,922	22,541	22,177	21,889	21,504												
処理・処分	再生利用量	(ト)	8,432	7,891	7,456	6,987	6,524	6,674	6,569	6,435	6,325	6,222	6,138	6,029												
	直接資源化量	(ト)	731	781	989	908	875	804	792	776	763	751	741	728												
	処理後資源化量	(ト)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
	集団回収ごみ量	(ト)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
	総資源化量	(ト)	9,163	8,672	8,445	7,895	7,399	7,478	7,361	7,211	7,088	6,973	6,879	6,757												
減量化量	(ト)	15,437	14,950	15,071	15,400	15,938	14,693	14,468	14,182	13,950	13,725	13,550	13,313													
最終処分量	(ト)	1,786	1,742	1,809	1,531	1,593	1,584	1,559	1,529	1,503	1,479	1,460	1,434													
総合計	ソ=リ+タ+チ	(ト)	26,386	25,364	25,325	24,826	24,930	23,755	23,388	22,922	22,541	22,177	21,889	21,504												
熱回収量	(MWh)																									

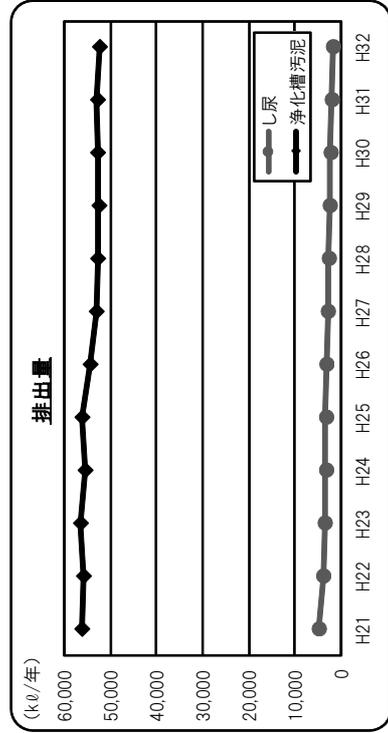
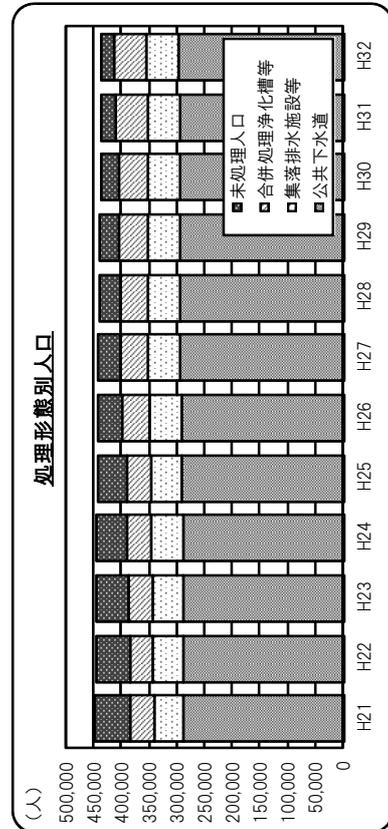


指標と人口等との要因に関するトレンドグラフ(生活排水)

豊橋市・田原市における生活排水の現状と目標

指標・単位\年度	過去の状況・現状											目標														
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
公共下水道	(人)	288,703	289,505	289,754	289,753	290,830	293,000	294,328	294,413	294,487	294,225	295,585	296,952	(人)	288,703	289,505	289,754	289,753	290,830	293,000	294,328	294,413	294,487	294,225	295,585	296,952
	(%)	(64.5%)	(64.8%)	(65.1%)	(65.1%)	(65.6%)	(66.0%)	(66.6%)	(66.7%)	(66.9%)	(67.1%)	(67.4%)	(67.8%)	(%)	(64.5%)	(64.8%)	(65.1%)	(65.1%)	(65.6%)	(66.0%)	(66.6%)	(66.7%)	(66.9%)	(67.1%)	(67.4%)	(67.8%)
集落排水施設等	(人)	53,563	54,506	55,172	56,717	57,799	58,163	58,415	58,830	59,174	58,932	59,058	59,091	(人)	53,563	54,506	55,172	56,717	57,799	58,163	58,415	58,830	59,174	58,932	59,058	59,091
	(%)	(12.0%)	(12.2%)	(12.4%)	(12.7%)	(13.0%)	(13.1%)	(13.2%)	(13.3%)	(13.4%)	(13.4%)	(13.5%)	(13.5%)	(%)	(12.0%)	(12.2%)	(12.4%)	(12.7%)	(13.0%)	(13.1%)	(13.2%)	(13.3%)	(13.4%)	(13.4%)	(13.5%)	(13.5%)
合併処理浄化槽等	(人)	42,079	41,752	42,584	43,604	43,573	47,835	49,199	50,519	51,844	53,447	55,338	57,087	(人)	42,079	41,752	42,584	43,604	43,573	47,835	49,199	50,519	51,844	53,447	55,338	57,087
	(%)	(9.4%)	(9.3%)	(9.6%)	(9.8%)	(9.8%)	(10.8%)	(11.1%)	(11.5%)	(11.8%)	(12.2%)	(12.6%)	(13.0%)	(%)	(9.4%)	(9.3%)	(9.6%)	(9.8%)	(9.8%)	(10.8%)	(11.1%)	(11.5%)	(11.8%)	(12.2%)	(12.6%)	(13.0%)
単独処理浄化槽	(人)	55,780	54,308	51,803	49,526	46,027	39,371	35,324	32,976	30,702	28,124	25,307	21,814	(人)	55,780	54,308	51,803	49,526	46,027	39,371	35,324	32,976	30,702	28,124	25,307	21,814
	(%)	(12.5%)	(12.2%)	(11.6%)	(11.1%)	(10.4%)	(8.9%)	(8.0%)	(7.5%)	(7.0%)	(6.4%)	(5.8%)	(5.0%)	(%)	(12.5%)	(12.2%)	(11.6%)	(11.1%)	(10.4%)	(8.9%)	(8.0%)	(7.5%)	(7.0%)	(6.4%)	(5.8%)	(5.0%)
汲み取り	(人)	7,738	6,507	5,964	5,511	5,318	5,243	4,701	4,390	4,089	3,743	3,363	2,891	(人)	7,738	6,507	5,964	5,511	5,318	5,243	4,701	4,390	4,089	3,743	3,363	2,891
	(%)	(1.7%)	(1.5%)	(1.3%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.1%)	(1.0%)	(0.9%)	(0.9%)	(0.8%)	(0.7%)	(%)	(1.7%)	(1.5%)	(1.3%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.1%)	(1.0%)	(0.9%)	(0.9%)	(0.8%)	(0.7%)
未処理人口	(人)	63,518	60,815	57,767	55,037	51,345	44,614	40,025	37,366	34,791	31,867	28,670	24,705	(人)	63,518	60,815	57,767	55,037	51,345	44,614	40,025	37,366	34,791	31,867	28,670	24,705
	(%)	(14.2%)	(13.6%)	(13.0%)	(12.4%)	(11.6%)	(10.1%)	(9.1%)	(8.5%)	(7.9%)	(7.3%)	(6.5%)	(5.6%)	(%)	(14.2%)	(13.6%)	(13.0%)	(12.4%)	(11.6%)	(10.1%)	(9.1%)	(8.5%)	(7.9%)	(7.3%)	(6.5%)	(5.6%)
総人口	(人)	447,863	446,578	445,277	445,111	443,547	443,612	441,967	441,128	440,296	438,471	438,651	437,835	(人)	447,863	446,578	445,277	445,111	443,547	443,612	441,967	441,128	440,296	438,471	438,651	437,835
	(k θ)	4,919	3,959	3,625	3,328	3,328	3,272	2,950	2,744	2,547	2,342	2,115	1,850	(k θ)	4,919	3,959	3,625	3,328	3,328	3,272	2,950	2,744	2,547	2,342	2,115	1,850
浄化槽汚泥	(k θ)	56,269	55,909	56,558	55,567	56,240	54,464	53,136	52,822	52,556	52,849	52,860	52,433	(k θ)	56,269	55,909	56,558	55,567	56,240	54,464	53,136	52,822	52,556	52,849	52,860	52,433
	(k θ)	61,188	59,868	60,183	58,895	59,568	57,736	56,086	55,566	55,103	54,975	54,283	54,283	(k θ)	61,188	59,868	60,183	58,895	59,568	57,736	56,086	55,566	55,103	54,975	54,283	54,283
排出量																										

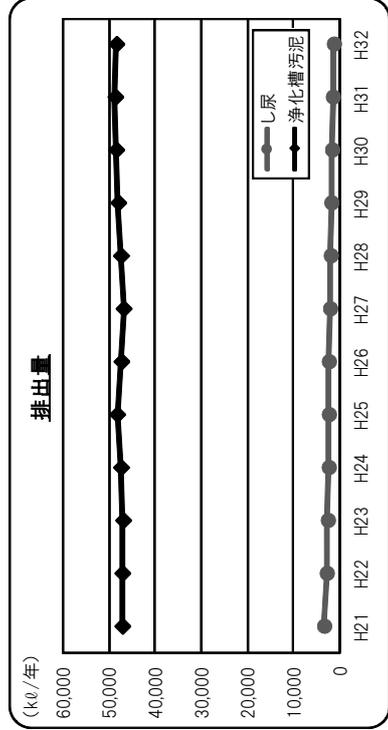
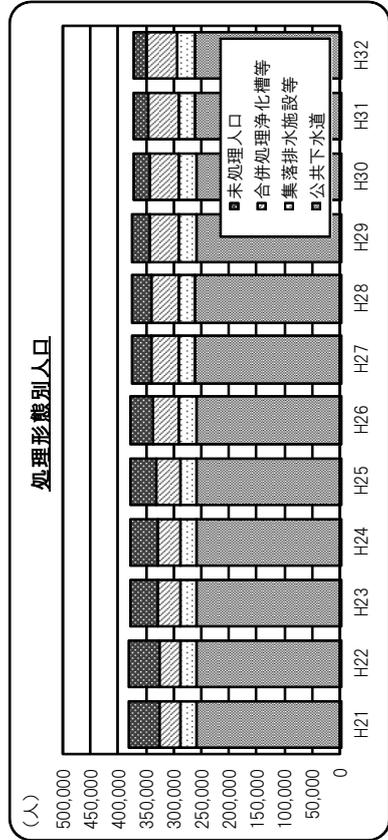
※ 処理形態別人口は、年度未人口を示す。



豊橋市における生活排水の現状と目標

指標・単位／年度	過去の状況・現状										目標						
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32					
公共下水道	(人)	259,987	259,537	259,251	258,876	259,830	261,230	262,083	261,696	261,305	260,634	261,803	262,977				
	(%)	(68.0%)	(68.0%)	(68.1%)	(68.2%)	(68.6%)	(69.1%)	(69.6%)	(69.6%)	(69.6%)	(69.7%)	(70.0%)	(70.4%)				
集落排水施設等	(人)	28,278	29,530	30,499	30,703	30,637	30,658	30,820	31,145	31,398	31,418	31,611	31,709				
	(%)	(7.4%)	(7.8%)	(8.0%)	(8.1%)	(8.1%)	(8.1%)	(8.2%)	(8.3%)	(8.4%)	(8.4%)	(8.5%)	(8.5%)				
合併処理浄化槽等	(人)	37,804	38,638	39,516	40,686	41,051	45,734	47,536	49,238	51,038	52,671	54,564	56,314				
	(%)	(9.9%)	(10.1%)	(10.4%)	(10.7%)	(10.8%)	(12.1%)	(12.6%)	(13.1%)	(13.6%)	(14.1%)	(14.6%)	(15.1%)				
単独処理浄化槽	(人)	49,405	48,094	45,935	44,438	42,096	35,690	31,924	29,854	27,854	25,526	22,959	19,716				
	(%)	(12.9%)	(12.6%)	(12.1%)	(11.7%)	(11.1%)	(9.4%)	(8.5%)	(7.9%)	(7.4%)	(6.8%)	(6.1%)	(5.3%)				
汲み取り	(人)	7,017	5,832	5,337	4,975	4,916	4,866	4,353	4,071	3,797	3,481	3,131	2,689				
	(%)	(1.8%)	(1.5%)	(1.4%)	(1.3%)	(1.3%)	(1.3%)	(1.2%)	(1.1%)	(1.0%)	(0.9%)	(0.8%)	(0.7%)				
未処理人口	(人)	56,422	53,926	51,272	49,413	47,012	40,556	36,277	33,925	31,651	29,007	26,090	22,405				
	(%)	(14.8%)	(14.1%)	(13.5%)	(13.0%)	(12.4%)	(10.7%)	(9.6%)	(9.0%)	(8.4%)	(7.8%)	(7.0%)	(6.0%)				
総人口	(人)	382,491	381,631	380,538	379,678	378,530	378,178	376,716	376,054	375,392	373,730	374,068	373,405				
し尿	(kℓ)	3,465	2,886	2,684	2,460	2,428	2,428	2,170	2,029	1,893	1,740	1,561	1,340				
浄化槽汚泥	(kℓ)	47,161	47,158	46,985	47,448	48,308	47,352	46,909	47,468	48,062	48,490	48,675	48,457				
総合計	(kℓ)	50,626	50,044	49,639	49,908	50,736	49,780	49,079	49,497	49,955	50,230	50,236	49,797				

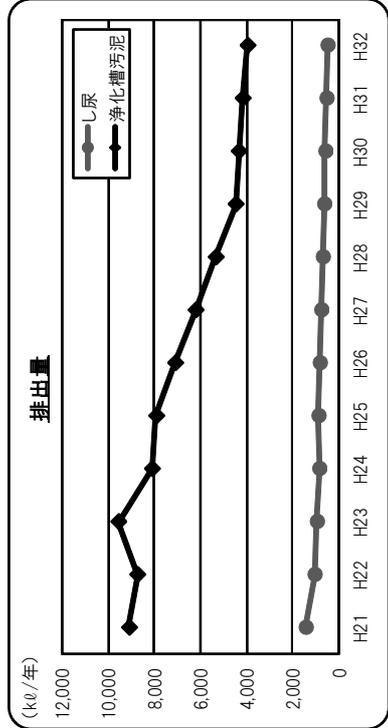
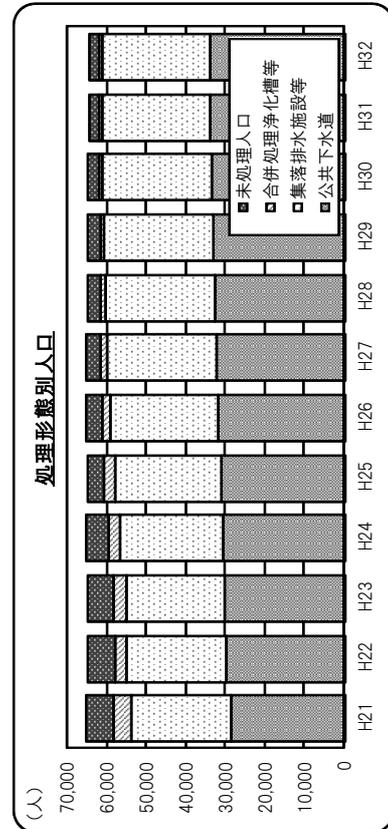
※ 処理形態別人口は、年度末人口を示す。



田原市における生活排水の現状と目標

指標・単位\年度	過去の状況・現状												目標													
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
公共下水道	(人)	28,716	29,968	30,503	30,877	31,000	31,770	32,245	32,717	33,182	33,591	33,782	33,975	(人)	31,000	31,770	32,245	32,717	33,182	33,591	33,782	33,975	34,745	35,514	35,705	
	(%)	(43.9%)	(46.1%)	(47.1%)	(47.2%)	(47.7%)	(48.6%)	(49.4%)	(50.3%)	(51.1%)	(51.9%)	(52.3%)	(52.7%)	(%)	(47.7%)	(48.6%)	(49.4%)	(50.3%)	(51.1%)	(51.9%)	(52.3%)	(52.7%)	(53.5%)	(54.3%)	(54.7%)	
集落排水施設等	(人)	25,285	24,976	24,673	26,014	27,162	27,505	27,595	27,685	27,776	27,514	27,447	27,382	(人)	27,162	27,505	27,595	27,685	27,776	27,514	27,447	27,382	27,162	26,976	26,785	26,614
	(%)	(38.7%)	(38.5%)	(38.1%)	(39.8%)	(41.8%)	(42.0%)	(42.3%)	(42.5%)	(42.8%)	(42.5%)	(42.5%)	(42.5%)	(%)	(41.8%)	(42.0%)	(42.3%)	(42.5%)	(42.8%)	(42.5%)	(42.5%)	(42.5%)	(42.5%)	(42.5%)	(42.5%)	
合併処理浄化槽等	(人)	4,275	3,114	3,068	2,918	2,522	2,101	1,663	1,231	806	776	774	773	(人)	2,522	2,101	1,663	1,231	806	776	774	773	754	735	716	707
	(%)	(6.5%)	(4.8%)	(4.7%)	(4.5%)	(3.9%)	(3.2%)	(2.5%)	(1.9%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.2%)	(%)	(3.9%)	(3.2%)	(2.5%)	(1.9%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.2%)	
単独処理浄化槽	(人)	6,375	6,214	5,868	5,088	3,931	3,681	3,400	3,122	2,848	2,598	2,348	2,098	(人)	3,931	3,681	3,400	3,122	2,848	2,598	2,348	2,098	1,848	1,598	1,348	1,098
	(%)	(9.8%)	(9.6%)	(9.1%)	(7.8%)	(6.0%)	(5.6%)	(5.2%)	(4.8%)	(4.4%)	(4.0%)	(3.6%)	(3.3%)	(%)	(6.0%)	(5.6%)	(5.2%)	(4.8%)	(4.4%)	(4.0%)	(3.6%)	(3.3%)	(2.9%)	(2.5%)	(2.1%)	(1.7%)
汲み取り	(人)	721	675	627	536	402	377	348	319	292	262	232	202	(人)	402	377	348	319	292	262	232	202	177	152	127	102
	(%)	(1.1%)	(1.0%)	(1.0%)	(0.8%)	(0.6%)	(0.6%)	(0.5%)	(0.5%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.3%)	(%)	(0.6%)	(0.6%)	(0.5%)	(0.5%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.3%)
未処理人口	(人)	7,096	6,889	6,495	5,624	4,333	4,058	3,748	3,441	3,140	2,860	2,580	2,300	(人)	4,333	4,058	3,748	3,441	3,140	2,860	2,580	2,300	2,020	1,740	1,460	1,180
	(%)	(10.9%)	(10.6%)	(10.0%)	(8.6%)	(6.7%)	(6.2%)	(5.7%)	(5.3%)	(4.8%)	(4.4%)	(4.0%)	(3.6%)	(%)	(6.7%)	(6.2%)	(5.7%)	(5.3%)	(4.8%)	(4.4%)	(4.0%)	(3.6%)	(3.2%)	(2.8%)	(2.4%)	(2.0%)
総人口	(人)	65,372	64,947	64,739	65,433	65,017	65,434	65,251	65,074	64,904	64,741	64,583	64,430	(人)	65,017	65,434	65,251	65,074	64,904	64,741	64,583	64,430	64,257	64,084	63,921	63,768
し尿	(k ₀)	1,454	1,073	971	868	900	844	780	715	654	602	554	510	(k ₀)	900	844	780	715	654	602	554	510	454	402	350	300
浄化槽汚泥	(k ₀)	9,108	8,751	9,573	8,119	7,932	7,112	6,227	5,354	4,494	4,359	4,185	3,976	(k ₀)	7,932	7,112	6,227	5,354	4,494	4,359	4,185	3,976	3,801	3,626	3,451	3,276
総合計	(k ₀)	10,562	9,824	10,544	8,987	8,832	7,956	7,007	6,069	5,148	4,961	4,739	4,486	(k ₀)	8,832	7,956	7,007	6,069	5,148	4,961	4,739	4,486	4,311	4,136	3,961	3,786

※ 処理形態別人口は、年度末人口を示す。



別添資料 4

分別区分説明資料

(豊橋市)

分別区分	種類	
もやすごみ	生ごみ、木くず、資源にならない紙くず類、皮革製品類等	
うめるごみ	陶磁器類、再生できないガラス類、レンガ、ブロック類等	
こわすごみ	電気・ガス・石油器具類、金属類、その他日用品類等	
プラスチック(資源)	包装ビニール、食品容器、洗剤容器、ラップ類等	
大きなごみ	電子レンジ、布団、自転車、家具類、家電 4 品目等	
危険ごみ	スプレー缶、ガスライター、針、かみそり、蛍光灯、有水銀の乾電池・体温計等	
資源	ペットボトル	飲料用・しょうゆ用・酒類用・調味料用のペットボトル等
	びん・カン	びん、カン
	紙類	新聞・チラシ、雑誌・雑がみ、ダンボール、牛乳パック等
	布類	天然繊維類、化学繊維類

* 家電 4 品目は市でも戸別有料収集している(収集料金のほかにリサイクル料金が必要)

* 上記分別区分のほか、平成 21 年度より廃食用油の試験回収を行っている

(田原市)

分別区分	種類	
もやせるごみ	生ごみ、紙くず等	
もやせないごみ	カセットテープ、電球等	
割れガラス陶器類	割れガラス、陶器等	
資源ごみ	有害ごみ	乾電池、蛍光灯等
	紙類	新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パック等
	布類	衣類、タオル等
	空缶	飲食物・油等の空缶(アルミ缶、スチール缶)
	小物金属	フライパン、やかん等(鉄類、非鉄類)
	ガラスびん類	飲食・調理用ガラスびん(透明、茶色、その他びん)
	ペットボトル	飲料用・酒類用・しょうゆ用・食酢及び調味酢用、みりん風調味料用等のペットボトル
	プラスチック容器類	プラスチック製の容器、パック、カップ等
	白色トレイ	白色トレイ

* 粗大ごみ、剪定枝は直接搬入にて受け付けている

* 上記分別区分のほか、平成 23 年 7 月から廃食用油の拠点回収及び平成 26 年 12 月から個人情報保護対策に配慮が必要な使用済み小型家電のボックス回収を行っている

(豊橋市)

1/2

焼却処理施設	施設名	①豊橋市資源化センター(焼却処理施設)	
	処理する廃棄物	もやすごみ、可燃残渣	
	処理方式	全連続キルン式ガス化溶融炉	全連続スト-カ式焼却炉
	処理能力	400t/日(200t/日×2炉)	150t/日(150t/日×1炉)
	所在地	愛知県豊橋市豊栄町字西 530 番地	
	竣工年月	平成 14 年 3 月	平成 3 年 2 月
	稼働開始年月	平成 14 年 4 月	平成 3 年 3 月
	補助の有無	有	有
資源化施設	施設名	①豊橋市資源化センター(再利用施設)	
	処理する廃棄物	大きなごみ、こわすごみ	
	処理方式	破碎(回転破碎、切断式破碎、切断、一軸破碎)	
	処理能力	70t/5h	
	所在地	愛知県豊橋市豊栄町字西 530 番地	
	竣工年月	平成 14 年 3 月	
	稼働開始年月	平成 14 年 4 月	
	補助の有無	有	
	施設名	①豊橋市資源化センター(剪定枝リサイクル施設)	
	処理する廃棄物	剪定枝	
	処理方式	チップ化	
	処理能力	10t/日(5h)	
	所在地	愛知県豊橋市豊栄町字西 530 番地	
	竣工年月	平成 24 年 3 月	
	稼働開始年月	平成 24 年 4 月	
	補助の有無	有	
施設名	②豊橋市資源リサイクルセンター		
処理する廃棄物	びん・カン	ペットボトル	
処理方式	選別	圧縮減容	
処理能力	45t/6h	4.2t/6h	
所在地	豊橋市東七根町字宝地道 31 番地ほか		
竣工年月	平成 2 年 3 月	平成 10 年 6 月	
稼働開始年月	平成 2 年 4 月	平成 10 年 7 月	
補助の有無	無		
施設名	③豊橋市プラスチックリサイクルセンター		
処理する廃棄物	プラスチック(資源)、ペットボトル		
処理方式	選別、圧縮梱包		
処理能力	29t/日(5h)		
所在地	豊橋市東七根町字宝地道 40 番地 1		
竣工年月	平成 17 年 3 月		
稼働開始年月	平成 17 年 4 月		
補助の有無	有		
し尿処理施設	施設名	①豊橋市資源化センター(し尿処理施設)	
	処理する廃棄物	し尿、浄化槽汚泥、その他	
	処理方式	標準脱窒素処理方式	
	処理能力	243kl/日(し尿 148 kl/日:浄化槽汚泥 40 kl/日:その他 55 kl/日)	
	所在地	愛知県豊橋市豊栄町字西 530 番地	
	竣工年月	昭和 55 年 10 月	
稼働開始年月	昭和 55 年 11 月		
補助の有無	有		

※ 施設名に示す①～③は、[別添資料 1]に示す番号と一致している。

別添資料 5	現有処理施設の概要
--------	------------------

(豊橋市)

2/2

最終処分場	施設名	④豊橋市廃棄物最終処分場	
	処理する廃棄物	焼却残渣、うめるごみ等	
	埋立工法	セル、準好気性	
	埋立容量	1,588,000 m ³	262,000 m ³
	所在地	豊橋市高塚町字東大縄手 441 番地ほか	
	竣工年月	平成 4 年 10 月	平成 23 年 3 月
	稼働開始年月	平成 4 年 11 月	平成 23 年 4 月
	補助の有無	無	有
分別収集 回収拠点	施設名	①南部環境センター	
	所在地	愛知県豊橋市東七根町字宝地道 24 番地	
	敷地面積	5,412m ²	
	竣工年月	昭和 62 年 3 月	
	稼働開始年月	昭和 62 年 4 月	
	補助の有無	無	

(田原市)

1/2

焼却処理施設	施設名	⑤田原リサイクルセンター炭生館	
	処理する廃棄物	もやせるごみ、可燃性粗大ごみ	
	処理方式	流動床式炭化炉方式	
	処理能力	60t/日(30t/日×2系)	
	所在地	田原市緑が浜二号 2 番地 91	
	竣工年月	平成 17 年 3 月	
	稼働開始年月	平成 17 年 4 月	
	補助の有無	有	
	施設の概要	PFI 事業(グリーンサイトジャパン株が運営)	
資源化施設	施設名	⑥田原市東部資源化センター	
	処理する廃棄物	資源ごみ、粗大ごみ	
	処理方式	破碎、圧縮	保管
	処理能力	15t/5h	162 m ²
	所在地	田原市相川町鳴森 87 番地	
	竣工年月	平成 6 年 3 月	
	稼働開始年月	平成 6 年 4 月	
	補助の有無	有	
	施設名	⑦田原市赤羽根環境センター	
	処理する廃棄物	資源ごみ、粗大ごみ	
	処理方式	保管	
	処理能力	156m ²	
	所在地	田原市赤羽根町西山 1 番地 68	
	竣工年月	平成 6 年 10 月	
稼働開始年月	平成 6 年 10 月		
補助の有無	有		

※ 施設名に示す①～⑦は、〔別添資料 1〕に示す番号と一致している。

別添資料 5	現有処理施設の概要
--------	------------------

(田原市)

2/2

資源化施設	施設名	⑧田原市渥美資源化センター
	処理する廃棄物	資源ごみ、粗大ごみ
	処理方式	保管
	処理能力	346 m ³
	所在地	田原市福江町清荒子 1 番地
	竣工年月	平成 19 年 3 月
	稼働開始年月	平成 19 年 4 月
	補助の有無	有
し尿処理施設	施設名	⑩田原市衛生センター
	処理する廃棄物	し尿、浄化槽汚泥
	処理方式	嫌気性消化、好気性消化、活性汚泥処理方式
	処理能力	100kl/日(し尿 80kl/日:浄化槽汚泥 20kl/日)
	所在地	田原市高松町尾村崎 549 番地
	竣工年月	昭和 41 年 3 月
	稼働開始年月	昭和 41 年 4 月
	補助の有無	有
最終処分場	施設名	⑥田原市第二東部最終処分場
	処理する廃棄物	焼却残渣、不燃残渣
	埋立工法	サンドイッチ
	埋立容量	40,600 m ³
	所在地	田原市相川町鳴森 87-14
	竣工年月	平成 19 年 3 月
	稼働開始年月	平成 19 年 4 月
	補助の有無	有
	施設名	⑦田原市赤羽根環境センター最終処分場
	処理する廃棄物	焼却残渣、不燃残渣
	埋立工法	サンドイッチ、準好気性
	埋立容量	12,200 m ³
	所在地	田原市赤羽根町西山 1 番地 68
	竣工年月	平成 6 年 10 月
	稼働開始年月	平成 6 年 10 月
	補助の有無	有
施設名	⑨田原市渥美最終処分場	
処理する廃棄物	不燃残渣	
埋立工法	サンドイッチ、セル	
埋立容量	150,500 m ³	
所在地	田原市和地町南大阪 2	
竣工年月	平成 7 年 3 月	
稼働開始年月	平成 7 年 7 月	
補助の有無	有	

※ 施設名に示す①～⑩は、[別添資料 1]に示す番号と一致している。